

令和7年度

特定非営利活動法人 だんでらいおん

通常総会 議事進行書

日 時：令和7年 5月24日(土)

13 時 00分～14 時30分

場 所：だんでらいおん 本館1階

○会員総会成立の確認

会員総数 令和6年度 109 名

出席会員 名(内委任状出席 名)

○議長の選出及び挨拶 _____

○議事録署名人の選任(2名) _____ / _____

◇議 案

第1号議案 役員退任に伴う改選について

第2号議案 令和6年度 事業報告

第3号議案 令和6年度 決算報告 監査報告

第4号議案 令和7年度 事業計画(案)

第5号議案 令和7年度 予算(案)

◇報告事項

会員、寄附金の状況

下記 QR コードから、
資料をダウンロードしていただけます



第1号議案 役員改正(案)について

役員名簿

(現 行)

役職名	フリガナ 氏 名
理事長	ク ボ テツ ヤ 久 保 哲 哉
副理事長	ヨネ ダ カズ ヨ 米 田 一 代
理 事	ナエ ムラ ト ミ コ 苗 村 登 美 子
理 事	イイ ジマ シン イチ 飯 島 伸 一
理 事	アキ モト ヨシ コ 秋 本 佳 子
理 事	イチ カワ サダ ヨ 市 川 貞 子
理 事	オオ ハラ トシ エ 大 原 敏 江
理 事	ツジ マサ アキ 辻 正 晃
理 事	ヤマ モト ケン タ 山 本 健 太
監 事	オク ニシ シウヘイ 奥 西 将 平
監 事	キムラ ケン ジ 木 村 憲 治
顧 問 弁 護 士	ツカ モト ヒロ ミ 塚 本 博 美
顧 問	ヨネ ダ ヤス ヒコ 米 田 保 彦
顧 問	ヒロ セ シゲ ハル 廣 瀬 重 治



(改正案)

	役職名	フリガナ 氏 名
再任	理事長	ク ボ テツ ヤ 久 保 哲 哉
再任	副理事長	ヨネ ダ カズ ヨ 米 田 一 代
再任	常務理事	ツジ マサ アキ 辻 正 晃
再任	理 事	イイ ジマ シン イチ 飯 島 伸 一
再任	理 事	アキ モト ヨシ コ 秋 本 佳 子
新任	理 事	カゲ ヤマ イサオ 蔭 山 勲
再任	理 事	イチ カワ サダ ヨ 市 川 貞 子
再任	理 事	オオ ハラ トシ エ 大 原 敏 江
再任	理 事	ヤマ モト ケン タ 山 本 健 太
再任	監 事	オク ニシ シウヘイ 奥 西 将 平
再任	監 事	キムラ ケン ジ 木 村 憲 治
新任	顧 問 弁 護 士	ホン ガン ヒロ カズ 本 元 宏 和
顧 問		ヨネ ダ ヤス ヒコ 米 田 保 彦
退 任		ナエ ムラ ト ミ コ 苗 村 登 美 子
退 任		ツカ モト ヒロ ミ 塚 本 博 美
退 任		ヒロ セ シゲ ハル 廣 瀬 重 治

任期(2年) 2025年6月1日 ~ 2027年5月31日
(顧問弁護士を除く)

令和6年度 事業報告（法人全体）

事業計画	事業報告
1. 令和6年度 事業実施について ・強度行動障がいをもつ障がい者支援等の強化 ・事業の透明性、情報開示の強化 ・降ろし忘れ防止装置の設置 ・修繕工事：本館1階 ・正面玄関：鉄扉の入れ替え 予算：約70万円 ・事務所、居宅介護事務所開通工事 予算：約35万円 ・事務所、更衣室：クロス張替え 予算：約18万円 ・事務所扉：化粧シート貼り、ガラス交換 予算：約18万円 ・居宅介護事務所、更衣室：タイルカーペット施工 予算：約18万円 ・北側：敷地内整地、外構工事 予算：約30万円 ・資材、諸経費など 予算：20万円 - 当初計画より見合わせ ・居宅事務所掃き出し窓を玄関引き戸に変更 ・車両の買い替え ・生産再開時の発注を相談。（トヨタカローラ南海松原店） ・制服(ベスト)の買い替え ・60着 約42万円 (株)ワキタスポーツに限らず他社も含め、検討する	・中核的人材養成研修は今年度、各都道府県で受講者2名、サブトレーナ1名ずつの研修予定となっており、今後、段階的に各都道府県で受講人数を増やす計画のため、現時点で受講可能時期の目途は立っていない。 ・生活介護事業所「こんふおーと」「リアン」7月25日、26日に第三者評価を受審。（NPO法人かなびの丘） 別紙 評価結果報告書 総評（案） ・対象車種8台（ハイエース1台、キャラバン1台、セレナ1台、シエンタ1台、ノア4台）に設置済み ・修繕工事：本館1階 - 正面玄関交換→補修に変更になったため、124万3千円で工事完了。（当初見積額179万3千円） ・令和7年、生産再開となり発注済。3,445,310円。納期未定。 ・(株)ハトヤへ相談し商品選定、発注済。令和7年5/22納品済。消耗している物を随時交換するようにし、40着に変更。22万円での購入。

・理事報酬規程 ・理事 5,000 円／回（3 月・5 月・11 月）⇒ 0 円 ・理事及び監事 交通費 1 回あたり 2,000 円 ⇒7,000 円	計画通り実施
2. 人事について 昇格人事と、職務人事での昇進の実施。	計画通り実施 [入職] 常勤職員 孫 文花 生活介護 生活支援員 (11／1 付) 川島 夏斗 共同生活 生活支援員 (1／1 付) 高田 朋君 生活介護 生活支援員 (2／1 付) 森本 吉哲 共同生活 生活支援員 (2／16 付) 孫 衛 生活介護 生活支援員 (3／1 付) 非常勤職員 安部 みゆき 共同生活 世話人 (4／25 付) 大谷 秀樹 共同生活 世話人 (5／1 付) 原田 誠 共同生活 生活支援員 (5／1 付) 森 彩香 共同生活 世話人 (5／27 付) 趙 易成 生活介護 送迎ドライバー (5／29 付) 瀬畑 裕二 生活介護 送迎ドライバー (6／3 付) 永岡 正次 生活介護 送迎ドライバー (6／26 付) 中岡 颯太郎 共同生活 生活支援員 (6／28 付) 宮口 仁光 生活介護 送迎ドライバー (7／2 付) 風間 直樹 生活介護 送迎ドライバー (7／3 付) 吉本 慎之介 共同生活 生活支援員 (7／5 付) 山岡 由卓 生活介護 送迎ドライバー (7／9 付) 木原 章代 共同生活 世話人 (8／17 付) 青木 知子 生活介護 生活支援員 (10／7 付) [退職] 常勤職員 齊藤 勇太郎 (7／30 付) 支援中の急性腰痛症による休職を経て 非常勤職員 三屋 幸嗣 (6／15 付) 自転車通勤途中の交通事故で休職を経て 安本 彩香 (3／31 付)

3. 組織体制について 事業の枠組み、経営責任者、業務執行責任者等の配置について	計画通り実施
4. 法人業務の見直し スリム化し迅速な判断と全職員への周知体制強化	計画通り実施
5. 賃金改定（ベア・定昇） ベースアップ、定期昇給、手当の見直し	計画通り実施 →『ベースアップ』『定期昇給』『扶養手当、住宅手当の見直し』 魅力のある待遇として、求人での応募が多数あった。また、在職中の職員に 関しても仕事に対するモチベーション、責任感の向上に繋がった。
6. 就業規則・内規について ●『定年の延長』 ●『再雇用制度の期間延長』 ●『リフレッシュ休暇』 ●『特別休暇』 ●『就業時間の変更』	計画通り実施 ●『定年の延長』 60歳→61歳。 ●『再雇用制度の期間延長』 →61歳～66歳まで利用できる。 ●『リフレッシュ休暇』 →通年で34名取得。昨年度に引き続き、職員からは「モチベーションアップ に繋がる」との声多数。 ●『特別休暇』 →業務上の新型コロナ罹患により5名使用。 →業務災害、子の看護休暇については、上期は使用なし。10月に2名使用 ●『就業時間の変更』 →労働時間の短縮により、職員のメンタルヘルス向上に繋がった。
7. デジタルトランスフォーメーション（DX） に関する取り組み	計画通り実施 ●『給与明細、源泉徴収票、年末調整の申請を電子化』 →6月分給与より実施。源泉徴収票、年末調整についても計画通り実施。 ●『キントーンの充実』 →物品購入伺い、事業実施伺い、アルコールチェック、消耗品管理、希望休管 理等順次導入済。 ●『QRコード（Googleフォームの活用）』 →行動援護会議の事前アンケートで定期的に活用。その他、健康診断、ワクチ ン、人間ドックアンケート、学生インターン申し込み等で活用。 ●『ChatGPTの活用』 →主に議事録作成時に活用。今後サービス担当者会議等でも取り入れ、効率化

	を図る。 ●『スイッチボット導入』 →グループホーム 全居室に設置。 ●『離床センサーマット導入』 →グループホーム 2室に設置。(転倒リスクの高い利用者様) ●『見守りカメラ導入』 →グループホーム リビング、全居室に設置。
8. 会議の在り方 『管理部』『支援部』『意思決定支援』における各種会議の開催。	計画通り開催 ●『管理部』 ・経営者会議 ・管理職会議 ・50年構想検討委員会 8/28 ●『支援部』 ・共同生活責任者会議 ・生活介護責任者会議 ・短期入所責任者会議 ・居宅支援責任者会議 ●『意思決定支援』 ・共同生活援助 9月中旬～10月初旬、2月上旬～3月下旬にかけて実施。 ・生活介護 7月中旬～10月初旬、1月下旬～3月下旬にかけて実施。 ・居宅介護 3月に実施。 ・相談支援 4月(2名) 5月(6名) 6月(6名) 7月(6名) 8月(12名) 9月(3名) 10月(2名) 11月(5名) 12月(7名) 1月(5名) 2月(11名) 3月(2名) ・短期入所 3月に実施。
9. 人権・権利擁護に関する取り組み 障がい者虐待防止・身体拘束廃止・権利擁護 研修計画	・障がい者虐待防止・権利擁護研修(厚生労働省 動画視聴)(全職員) ・身体拘束廃止研修(管理職) 5/13(月)久保理事長「身体拘束を防ぐ重要な視点」 ・障がい者虐待防止・身体拘束廃止研修(全職員) 10/26(土)NPO法人ちゅうぶ 平沼氏・小坪氏「実践事例から学ぶ」 ・人権擁護演習(全職員) 3/22(土)城南女子短期大学 前田教授「福祉施設におけるハラスメント防止

10. 社会貢献（地域連携） ①住道矢田6町会・矢田5町会 ●災害時の連携等の関係強化（避難訓練の参加要請） ②要介護者対応型避難所づくりと防災なんでも電話相談 ●相談支援事業所（栗根施設長・津司施設長代理）が中心となって、地域の相談に応じる。 ・社会資源等の情報提供が主な業務 ③社会貢献事業 ●大阪城南女子短期大学と共催 ●矢田ふれあい祭り実行委員会への参画 ④災害備蓄品等の購入	① 避難訓練 ・7/29「リアン」避難訓練及び消火訓練 24名 ・7/30「こんふおーと」避難訓練及び消火訓練 29名 ・8/7「リバティ」避難訓練及び消火訓練 15名 ・11/27「みんなの家」避難訓練及び消火訓練 24名 ② なんでも電話相談については、問い合わせなし。 ③ 昨年に続き、矢田ふれあい祭り実行委員会として参画。 10/26(土)「焼き鳥・ドリンク」を販売。52,700円を売り上げた。 ④ 大阪総合保育大学 短期大学部「トロッピーカレー」160個購入
11. 社会貢献（団体加盟） 【大阪府社会福祉協議会】 久保理事長 役員 セルフ部会 常任委員 副部会長 外部委員任命 研修運営委員会 専門委員会 委員委員長 研修運営委員会 委員、福祉と人権の研修ネットワークおおさ か運営委員会 委員 運営化適正化委員会 日常生活自立支援事業・運営監視小委員会 委員	【大阪府社会福祉協議会】 ① 施設正副部会長会議 ・4/3(水) 田中常務理事に感謝する会 出席 ・4/10(水) シティプラザ大阪 ※同日、大阪府福祉部幹部職員との意見交換会 出席 ・5/8(水) たかつガーデン ※同日、社会福祉施設経営者部会 常任幹事会 出席 ・6/12(水) シティプラザ大阪 ※同日、社会福祉施設経営者部会 総会 出席 ・7/10(水) たかつガーデン ・9/11(水) たかつガーデン ・10/9(水) たかつガーデン ・11/13(水) たかつガーデン「コスモス」 ・12/11(水) たかつガーデン ※同日、社会福祉施設経営者部会 常任幹事会 出席 ・1/8(水) シティプラザ大阪 ・2/12(水) たかつガーデン「コスモス」 ※同日、社会福祉施設経営者部会 常任幹事会 出席

- ・ 3/12 (水) ※近畿社会就労センター職員研修会 参加のため欠席
- ② セルフ部会
 - ・ 4/18(木) 総会+研修会「令和6年能登半島地震への支援について」/実践報告(辻統括施設長も報告)
 - ・ 6/20(木) 6月部会+授産事業振興センター総会+研修会「購買意欲を高める広報の魅せ方とは」/講師: 大本 ふみ
 - ・ 8/22(木) 8月部会+研修会「施設での業務効率化」/事例報告①(福)つむぎ福社会 ポンチセピリか ②(福)能勢むらびと福社会 夢来人の家
 - ・ 10/18(木) 10月部会+研修会「障がい者通所施設における災害への備え」/講師:(株)Co-act 渡嘉敷 唯之 氏
 - ・ 12/19(木) 12月部会+研修会「福祉現場のカスタマーハラスメント」/講師: 梅田シティ法律事務所 弁護士 赤木 直哉 氏
 - ・ 1/30(木) 施設見学会について
 - ①福)恵生会 障がい福祉サービス事業所「クリエイトしき」
 - ②福)恵生会 障がい福祉サービス事業所「しきファーム」
 - ③福)恵生会 入所支援施設「四季の森」
 - ・ 2/20(木) 2月部会+研修会「就労選択支援について」/講師: 厚生労働省 社会・援護局 障がい保健福祉部 障がい福祉課長補佐 横田 雄介 氏
- ③ セルフ部会 常任委員会 (副部会長) 4/10(水)、5/8(水)、7/11(木)、9/11(水) 10/9(水)、11/6(水)、12/11(水)、1/15(水)、2/17(月)、3/5(水)
- ④ 運営適正化委員会 運営監視小委員会 (福祉サービスの提供者を代表する委員)
 - ・ 第1回 6/10(月)
 - ・ 10/ 4(金)第1回 運営適正化委員会
 - ・ 10/ 4(金)第2回 運営監視小委員会
 - ・ 11/25(月)実施機関調査 「豊中市社会福祉協議会」※現地
 - ・ 12/10(火)第3回 運営監視小委員会
 - ・ 3/13(木)第4回 運営監視小委員会
- ⑤ 7/ 4(木)～5(金) 令和6年度全国社会就労センター総合研究大会 富山大会
(辻統括施設長も出席)
- ・ 行政説明「障害保健福祉施策の動向について」 厚生労働省 社会・援護局障害保健

福祉部 障害福祉課

・基調報告「障害者就労支援の現状・課題とセンプ協の対応」 全国社会就労センター協議会 会長 叶 義文

・分科会 生産活動・生活介護事業部会

『「生活介護」から「〇〇〇〇」へ～報酬改定から考える将来の在り方～』

・分科会 くらす検討会（運営：制度・政策・予算対策委員会）

災害発生時に慌てない！！「くらしの場」における発災時対応とは？

・パネルディスカッション「地域福祉と防災～創造的復興について～」

・特別講演「地域と共に生きる 伝統産業の挑戦」(榎能作 代表取締役会長 能作 克治

⑥ 8/29(木)～30(金) 第43回全国社会福祉法人経営者大会（神奈川大会）

・基調報告「社会福祉法人をめぐる動向と全国経営協の取り組み」 全国社会福祉法人経営者協議会 会長 磯 彰格

・特別講演『福祉と被災者支援の連続性～「いつも」も「もしも」もよい地域をつくる～』 大阪公立大学 大学院文学研究科・文学部地理学教室 準教授 菅野 拓

・第4分科会「未来に向けた事業展開を考える～大規模化・合併・事業譲渡を問う～」

・パネルディスカッション「変わらないために変わり続ける～これからの法人経営」

・記念講演「真に優れたローカルブランドをめざす」(榎崎陽軒 代表取締役社長 野並 晃

⑦ 1/8(水) 令和7年 施設部会 新年互例会 シティプラザ大阪 2階「旬」

大阪府議会議員ならびに大阪府福祉部幹部職員等との意見交換

⑧ 1/17(金) 令和7年 大阪市社会福祉事業施設協議会 新年互例会 ホテル日航大阪
大阪市職員ならびに大阪市福祉施設関係者等との意見交換

⑨ 11/20(水) 近畿社会福祉法人経営者協議会 令和6年度 近畿ブロックセミナー
京都大会 テーマ「働きやすい職場づくり」等

⑩ 11/28(木) 第42回近畿社会就労センター総合研究大会(奈良大会)

基調講演「新たな共生型循環経済の構築を目指して～就労支援による自然や人との
かかわりを通じた取り組み～」

リレートーク「今井文庫のコンセプトは『急がないこと』『ユニバーサル農園奮闘
記～農福連携は1日にしてならず～』『地域とともに歩む開かれた施設をめざして』

⑪ 2/27(木)～28(金) 令和6年度 第41回全国社会就労センター長研修会(有明セン
トラルタワーホール&カンファレンス) テーマ：社会就労センターの”果たす役

【大阪市障がい児・者施設連絡協議会】

- 割”～多様な就労ニーズの実現と事業の持続可能性を考える～
- ⑫ 第40回近畿社会就労センター職員研修会(和歌山大会)
テーマ：能登半島地震の経験から これからの事業所運営を考える～
- ⑬ 研修運営委員会 ・3/14(金)
- ⑭ 従事者部会 辻統括施設長 委員 従事者部会 常任委員(第3水曜日)
・常任委員会 4/17、5/15、6/19、9/18
10/16、11/20、12/18、3/19
7/18 委員会+施設見学『児童養護施設 生駒学園』
2/20 委員会+研修会補助員
- ・研修会、事業補助員 9/5(木)第1回集団指導者養成教室
11/8(金)第2回集団指導者養成教室
11/17(日)第50回民間社会福祉施設従事者体育祭
12/6(金)第3回集団指導者養成教室(司会)

【大阪市障がい児・者施設連絡協議会】

- ⑮ 身体障がい者施設部会
- ・第1回-5/24(金) 大阪市立社会福祉センター
 - ・第2回-8/1(金)(社福) 四天王寺福祉事業団「さんめい苑」
 - ・第3回-10/2(水)(社福) 愛生会 障がい者支援施設「豊生園」
勉強会「後見人は必要かと問われたらどう答えるか～その必要性の現在地」/井関佳奈美氏 親なき後のお金の相談室 神戸・梅田 室長
 - ・第4回-12/5(水)(社福) あさか会 浅香障がい者会館
勉強会『「なぜ虐待通報に至ったのか」～通報事案の実態から見える虐待防止～」/
大阪市福祉局 障がい者施策部 運営指導課 小野澤 大輔 運営指導課長代理
 - ・第5回-3/6(木)(特非) だんでらいおん
勉強会「たかが送迎車、されど送迎車～意外と知らない福祉車両のいろは」/福祉車両専門 販売・改良(有) ウェルビー 田中圭一郎氏
- ⑯ 知的障がい者部会
- ・第1回-5/24(金) 大阪市立社会福祉センター(森施設長も出席)
 - ・第2回-6/27(金) 大阪市立社会福祉センター(森施設長出席)
 - ・第3回-8/22(金) 大阪市立社会福祉センター

【大阪知的障がい者福祉協会・日本知的障がい者福祉協会】 【障がい児者施設課程研修専門委員会】 【講師派遣】 【一般社団法人 大阪知的障がい児者生活サポート協会】 【東住吉区自立支援協議会】	⑰ 総会－5/24(金) 大阪市立社会福祉センター ⑱ 学習会 ・第1回－8/7(水) 報酬改定について ・第2回－10/5(火) 「障がい児者施設職員のメンタルヘルスケア～適切なセルフケアを学ぶ～」/メンタルワークス大阪 代表・臨床心理士 岡崎 剛 氏 ・第3回－12/3(火) 「能登半島地震応援・派遣スタッフ報告会」/メンタルワークス大阪 代表・臨床心理士 岡崎 剛 氏 発表者 特定非営利活動法人だんでらいおん 辻 正晃（統括施設長） 社会福祉法人ゆうのゆう「デーセンター音・on」 橘 惇子（生活支援員） 社会福祉法人愛徳福祉会「大阪発達総合療育センターわかば」吉成 彩華 ・第4回－2/21(金) 実践研修発表会⇒私用により欠席（介護福祉士） 【大阪知的障がい者福祉協会・日本知的障がい者福祉協会】 ⑲ 地域支援部会（グループホーム・短期入所） ・5/10(金) ・11/8(金) 地域連携推進会議の開催報告/NPO法人よつ葉福祉会 理事長 井端隆介氏 ⑳ 日中活動、生産活動・就労支援部会 ・6/24(月) ・1/23(木) 幹事会 意見交換会 ㉑ 社員総会＋研修会＋情報交換会 ・5/31(金) ホテルアウィーナ大阪(辻統括施設長も出席) 【障がい児者施設課程研修専門委員会】 ㉒ 1/22(水) ※成人施設課程研修専門委員会 合同開催 【福祉と人権の研修ネットワークおおさか 運営委員会】 ㉓ 3/14 (金) 【講師派遣】 ㉔ 大阪府社協－10/28(月)障がい児者・救護施設課程（基礎コースⅡ） 【一般社団法人 大阪知的障がい児者生活サポート協会】 ・6/13(木)、7/25(木)（柳澤主任） 【東住吉区自立支援協議会】 ① 日中活動系（東中尾主任） ・連絡会 6/26(水)、7/24(水)、9/10(火)、10/25(金)、12/11(水)
---	---

【東住吉区社会福祉連絡会】 【大阪市社会福祉協議会】	・ 8／ 2(金) 連絡会＋研修会「令和6年能登半島地震での活動報告」(辻統括施設長報告、森施設長も出席) ・ 2／7(金) 事業所見学会 テット(就労継続支援B)・けんけんぱ(生活介護)・なでしこデイズ(生活介護) ② 訪問系 ・実施せず ③ 相談支援部会 ・ 6／ 3(月) 区役所からのお知らせ・事例検討会(栗根施設長) ・ 9／ 9(月) G S V(津司施設長代理) ・ 9／26(木) 研修会「高次脳機能障害研修」(津司施設長代理) ・ 10／7(月) 勉強会「サービス担当者会議」(栗根施設長) ・ 11／5(月) 勉強会「障がい児支援研修」(津司施設長代理) ・ 2／ 3(月) 勉強会「サービス担当者会議」(栗根施設長) 【東住吉区社会福祉連絡会】 講師派遣 7／23(火) 「令和6年能登半島地震 グループホームでの活動報告」(辻統括施設長) 【大阪市社会福祉協議会】 大阪市社会福祉協議会「地域こども支援ネットワーク事業」への参画(賛助)
1 2. 環境整備	【ワックスがけ】 ・ 9／14(土) 株式会社 FASTRIK に依頼し、実施済。 【雑排水管洗浄】 ・ 10／26(土) 小川工業株式会社に依頼し、実施済。
1 3. その他 ① 理事会について ・ 令和6年 5月25日(土)10:00～ 決算理事会・会員総会 ・ 令和6年11月14日(木)18:00～ 上期決算理事会 ・ 令和7年 3月 6日(木)18:00～ 予算理事会 ② 意見交換会について ・ 令和6年6月 8日(土)17:30～ 新任職員歓迎会及び理事・監事との意見交換会(ホテル バリタワー大阪天王寺) ・ 令和7年1月18日(土)18:00～ 理事・監事・管理職との意見交換会	① 計画通り開催。 ・ 5／25(土) 決算理事会・会員総会 ・ 11／14(木) 上期決算理事会 ・ 3／6(木) 予算理事会 ② 計画通り開催。 ・ 6／ 8(土) 17:30～ 天王寺『ホテル バリタワー』 ・ 1／18(土) 18:30～ あべのハルカス『うおまん』

③ 法人行事

行事名	開催月	目安の予算（1人）
花見	4月	予算： 1, 500円
一泊旅行	9月	予算： 35, 000円
創立19周年行事	11月	予算： 3, 000円
クリスマス会	12月	予算： 2, 000円
新年会	1月	予算： 2, 000円

④ 顧問契約の見直しについて

・昨今の経費の値上がり等に伴い、下記、顧問料の増額を実施する。

□奥西先生 49, 895円⇒59, 874円（月9, 979円増額）

□木村先生 71, 103円⇒81, 082円（月9, 979円増額）

⑤ 【寄 贈】

⑥ 【施設訪問】

③ 法人行事

- ・花見 4/5(金)
- ・錦織公園 利用者様 38名 職員 31名
- ・一泊旅行 9/13(金)～14(土)
伊勢シーパラダイス、かまぼこ作り体験 利用者様 39名 職員 34名
- ・創立19周年行事 11/3(金)
まつばらテラス、喜多八 利用者様 15名、ご家族 11名 職員 35名
- ・クリスマス会 12/24(火)
長居障がい者スポーツセンター 利用者様 37名、職員 34名
- ・新年会 1/6(月)
かごの屋 利用者様 36名、職員 26名

④ 計画通り実施

⑤ 寄贈者 三菱重工業株式会社

寄贈品 形状記憶食器「ウィルシリーズ」

⑥ 【施設訪問】 2/20(木) 厚生労働省 社会・援護局 障がい保健福祉部 障がい福祉課長補佐 横田 雄介氏

令和6年度 事業報告（各種事業）

報告事項（別紙）

・虐待事案について

・車両事故	生活介護（3件）	転倒事故	共同生活援助（3件）、生活介護（4件）
服薬事故	共同生活援助（1件）、生活介護（3件）	他害による事故	生活介護（1件）
物品の紛失	生活介護（1件）	行方不明	生活介護（1件）
ヒヤリハット	行動援護（2件）、生活介護（4件）		

・計画未作成減算 生活介護10月請求 全件

事業計画		事業報告							
1. 共同生活援助 みんなの家 【事業目標】：利用者様がより安心して過ごせるようリスクマネジメントを強化するとともに、より快適な環境を整えます。 1. 職員配置 ・ 重度障害者支援加算（Ⅰ） [生活支援員のうち20%以上の基礎研修修了者を配置] ・ 夜間支援等体制加算（Ⅰ） [原則、入居者様5人に対して1人の夜勤職員を配置] ・ 夜間支援等体制加算（Ⅳ）[複数の夜勤職員を配置し、夜間の支援体制強化を図った場合に算定] ・ 福祉専門職配置等加算（Ⅰ）型 [常勤配置7人中3人が国家資格保持者] ・ 医療連携体制加算（Ⅶ）型 [24時間 看護師との連絡体制の確保]		[職員配置]							
				4月	5月	6月	7月	8月	9月
		世話人	基準配置 （人員配置体制加算Ⅰ）	644	665	644	665	665	644
			予定配置	739	749	971	1090	995	1028
			実績配置	736	719	898	964	996	1015
		生活支援員	基準配置	1029	1063	1029	1063	1063	1029
			加算配置	1046	1081	1046	1081	1081	1046
			予定配置	1059	1122	1063	1395	1161	1124
			実績配置	1066	1134	1087	1102	1067	1178
			日中支援加算			20			
				10月	11月	12月	1月	2月	3月
		世話人	基準配置 （人員配置体制加算Ⅰ）	665	644	665	665	600	665
			予定配置	1123	1103	960	739	767	784
			実績配置	985	929	871	722	772	765

生活 支援員	基準配置	1063	1029	1063	1063	960	1063
	加算配置	1081	1046	1081	1081	976	1081
	予定配置	1262	1052	1107	1266	1134	1383
	実績配置	1283	1055	1113	1212	1193	1318
	日中支援加算						

※6/17.18.19.20 日中支援加算算定 計20時間加配済

[利用実績]

① 月別利用実績(延べ人数) 単位：日 本体：ホームに居た日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計	一日平均
区分6 15人	446	449	445	461	446	444	5366	14.70
	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
区分6 15人	461	442	461	435	416	460		

昨年度5352 14.62

② 月別利用実績(延べ人数)単位：日 夜間：宿泊した日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計	一日平均
区分6 15人	431	432	426	444	424	409	5110	14
	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
区分6 15人	439	422	433	417	396	438		

昨年度5097 13.92

2. 入居者様の支援に関して

●現在必要性のある利用者様の居室に見守りカメラ、離床センサーマットの設置

・見守りカメラを設置することで利用者様の安全確保（事故予防・検証、命を守るため）に努めます。（アミ1室）

・離床センサーマットについては、転倒リスクの高い利用者様の居室に設置し、利用者様の離床に素早く対応し、転倒防止に努めます。（フェロー1室、パル1室）

●湿度・温度・照明 等コントロールセンサーの導入

・各利用者様の居室の湿度・温度が一定で保たれるよう、コントロールセンサーで設定し、健康で快適に過ごせる環境づくりを行います。（設定した時間に自動で電源オン、オフ）（全居室15室）

●嚥下食の導入

・大阪城南短大と連携して、嚥下機能の低下がみられる利用者様が、より安全に食べることの出来る食事提供体制を目指します。

●利用者預り金の管理方法

・利用者の預り金 等の管理方法の見直し（トリプルチェックの強化、キャッシュレス）

金銭管理 現行：施設長・総務部長によるダブルチェック

【訪問看護】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
日程	4日 18日	2日 16日	6日 27日	4日 18日	1日 22日	5日 19日
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日程	3日 17日	7日 21日	5日 19日	16日 30日	6日 20日	6日 27日

●見守りカメラについては、先行して1名の居室に設置。リビングで他の利用者様の介助や事務作業をしながらも利用者様の把握ができ、より安全に利用者様の見守り・支援が出来るようになった。全居室に設置完了。

離床センサーマットについても、利用者様の離床に素早く対応できるようになった。離床に伴う転倒はなかったが、足の指を骨折する事故が2件あった。（別紙）

●コントロールセンサーについては、アプリで室温や電気の入切ができるため、利用者が気になるようなことなく、快適な室温や照明の設定ができるようになった。

●嚥下機能の低下している利用者様については、世話人による刻みやお粥で対応している。今後、更なる低下も考えられるため、大阪城南短大に限らず嚥下食（やわらか食など）の導入を目指す。

●金銭管理については、トリプルチェックを徹底し、金銭のズレなし。引き続き、トリプルチェックを徹底する。

●令和7年3月28日（金）に令和6年度地域連携推進会議ならびに住居訪問を開催。

HP_kaisaituukoku.pdf

[修繕関係]

[食 費]

[修繕関係]

	事業費・事務費より支出		事業費・事務費より支出
4月	フェロー洗面所 蛇口パーツ 交換	10月	ホーム建具工事
5月		11月	
6月	車椅子タイヤ修理	12月	N-BOX バッテリー交換
7月	フェロー、パル玄関扉調整	1月	電子錠修理 アミIHコンロ修理
8月		2月	
9月		3月	アミ出入口建具修繕 フェローIHコンロ修理

[食 費]

2階フェロー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
朝食提供回数 1食300円	143食	141食	138食	147食	138食	131食
昼食提供回数 1食400円	0食	5食	4食	0食	6食	0食
夕食提供回数 1食500円	166食	159食	157食	163食	152食	150食
食費徴収合計	123400円	123800円	121500円	125600円	119800円	114300円
食材料費 支出合計	121444円	109803円	105923円	116786円	117635円	108733円
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
朝食提供回数 1食300円	145食	138食	144食	128食	131食	142食
昼食提供回数 1食400円	0食	0食	0食	4食	0食	0食
夕食提供回数 1食500円	161食	152食	156食	153食	150食	164食

食費徴収合計	1 2 4 0 0 0 円	1 1 7 4 0 0 円	1 2 1 2 0 0 円	1 1 6 5 0 0 円	1 1 4 3 0 0 円	1 2 4 6 0 0 円
食材料費 支出合計	1 3 5 1 0 2 円	1 1 4 2 4 1 円	1 3 0 2 0 8 円	1 1 3 7 4 8 円	1 1 5 3 6 7 円	1 3 3 0 2 5 円

食費徴収合計 : 1,446,400 円

食材料費支出合計 : 1,422,015 円 差し引き : 24,385 円

3 階アミ

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
朝食提供回数 1 食 3 0 0 円	1 5 3 食	1 4 9	1 4 2 食	1 5 6 食	1 5 0 食	1 4 1 食
昼食提供回数 1 食 4 0 0 円	0 食	5 食	3 食	0 食	5 食	0 食
夕食提供回数 1 食 5 0 0 円	1 6 5 食	1 7 6 食	1 6 7 食	1 7 2 食	1 6 5 食	1 5 9 食
食費徴収合計	1 2 8 4 0 0 円	1 3 4 7 0 0 円	1 2 7 8 0 0 円	1 3 2 8 0 0 円	1 2 9 8 0 0 円	1 2 1 8 0 0 円
食材料費 支出合計	1 2 8 5 9 2 円	1 2 9 4 9 3 円	1 1 5 0 5 0 円	1 2 7 5 0 8 円	1 2 8 2 4 2 円	1 0 9 8 7 0 円
	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月
朝食提供回数 1 食 3 0 0 円	1 4 9 食	1 3 9 食	1 5 7 食	1 5 0 食	1 3 7 食	1 5 4 食
昼食提供回数 1 食 4 0 0 円	0 食	0 食	0 食	6 食	0 食	0 食
夕食提供回数 1 食 5 0 0 円	1 6 9 食	1 5 9 食	1 6 6 食	1 6 5 食	1 4 8 食	1 6 8 食
食費徴収合計	1 3 0 0 0 0 円	1 2 1 2 0 0 円	1 3 0 1 0 0 円	1 3 0 3 0 0 円	1 1 5 1 0 0 円	1 3 0 2 0 0 円
食材料費 支出合計	1 2 7 6 8 9 円	1 1 2 1 3 6 円	1 4 5 5 6 5 円	1 1 4 0 1 8 円	1 2 4 2 0 9 円	1 4 2 7 1 5 円

食費徴収合計 : 1,532,800 円

食材料費支出合計 : 1,505,087 円 差し引き : 27,713 円

[日用品費]	4階バル						
		4月	5月	6月	7月	8月	9月
	朝食提供回数 1食300円	146食	147食	141食	151食	146食	139食
	昼食提供回数 1食400円	12食	4食	2食	0食	6食	0食
	夕食提供回数 1食500円	176食	178食	169食	179食	174食	168食
	食費徴収合計	136600円	134700円	127600円	134800円	133200円	125700円
	食材料費 支出合計	123603円	117512円	101213円	117429円	111121円	111778円
		10月	11月	12月	1月	2月	3月
	朝食提供回数 1食300円	147食	143食	151食	136食	136食	152食
	昼食提供回数 1食400円	0食	0食	0食	6食	0食	0食
	夕食提供回数 1食500円	178食	180食	177食	170食	166食	183食
	食費徴収合計	133100円	132900円	133800円	128200円	123800円	138100円
	食材料費 支出合計	110784円	117650円	123703円	111274円	122044円	119978円
	食費徴収合計 : 1,588,200円						
	食材料費支出合計 : 1,392,957円 差し引き : 195,243円						
	[日用品費]						
	2階フェロー						
		4月	5月	6月	7月	8月	9月
	日用品費 徴収合計	20000円	20000円	20000円	20000円	20000円	20000円

日用品費 支出合計	34067円	18258円	18489円	17614円	14428円	16623円
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日用品費 徴収合計	20000円	20000円	20000円	20000円	20000円	20000円
日用品費 支出合計	31768円	12005円	23946円	10306円	20503円	16615円

日用品費徴収合計：240,000円

日用品費支出合計：234,622円 差し引き：5,378円

3階アミ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
日用品費 徴収合計	20000円	20000円	20000円	20000円	20000円	20000円
日用品費 支出合計	33055円	16817円	21210円	13851円	11411円	12345円
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日用品費 徴収合計	20000円	20000円	20000円	20000円	20000円	20000円
日用品費 支出合計	21519円	15355円	23120円	17087円	10006円	17072円

日用品費徴収合計：240,000円

日用品費支出合計：212,848円 差し引き：27,152円

4階パール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
日用品費 徴収合計	20000円	20000円	20000円	20000円	20000円	20000円
日用品費 支出合計	33181円	21257円	13551円	23074円	8764円	12797円

		10月	11月	12月	1月	2月	3月																												
	日用品費 徴収合計	20000円	20000円	20000円	20000円	20000円	20000円																												
	日用品費 支出合計	30014円	12062円	16673円	17719円	9928円	21803円																												
	日用品費徴収合計：240,000円 日用品費支出合計：220,823円 差し引き：19,177円																																		
6. 生活介護「こんふおーと」「リアン」「リバティ」共通 【事業目標】:利用者様のニーズに寄り添った質の高い サービスを提供するため、健康・安全・活動面 など多角的な支援の充実を図ります。 開所日数 264日（前年度より3日増） 利用者様の日中活動支援に関して 1. 当事者の会を開催し、利用者様の希望や意見を取り まとめて、サービスへの反映に繋がります。 当事者の会を通じて日中活動の希望やレクリエーション・一泊旅行の行き先希望などを取りまとめた上で検討し、より利用者様のニーズに沿ったサービス提供を行えるよう取り組みます。	開所日数 264日（予定通り実施） <table><tr><td></td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td></tr><tr><td>開所日数</td><td>22日</td><td>23日</td><td>21日</td><td>23日</td><td>22日</td><td>22日</td></tr><tr><td></td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr><tr><td>開所日数</td><td>23日</td><td>22日</td><td>22日</td><td>22日</td><td>20日</td><td>22日</td></tr></table> 日中活動の希望やレクリエーション・一泊旅行の行き先希望などは、その都度、利用者様に意見をいただき、取りまとめた上で検討、決定へと繋げている。役員に関しては、同票で2名以上となった班については、複数名の役員とする。 今後、班ごとのレクリエーションや希望別レクリエーションの企画の際に、利用者様の意見を取りまとめたものを当事者の会の議事録として保管している。								4月	5月	6月	7月	8月	9月	開所日数	22日	23日	21日	23日	22日	22日		10月	11月	12月	1月	2月	3月	開所日数	23日	22日	22日	22日	20日	22日
	4月	5月	6月	7月	8月	9月																													
開所日数	22日	23日	21日	23日	22日	22日																													
	10月	11月	12月	1月	2月	3月																													
開所日数	23日	22日	22日	22日	20日	22日																													
2. 利用者様の食事提供体制を見直します。 ・4月は従来通りの食事を提供します。 ・5月からは『お弁当の浜乃家』に1本化します。 ・管理栄養士又は栄養士が献立作成し、利用者様の健康状態に合わせた食事（例：嚥下機能低下の利用者様にやわらか食の提供 等）を提供できる外部委託業者（2社以上から見積もりを取り検討）を選定し、8月の家族会	5月から予定通り『お弁当の浜乃屋』に一本化した。 食事提供体制加算対応の業者を複数あたり、費用面、配膳までの流れ、保管方法、配送ペースなどから検討し、より実用的な業者を選定した。予定より一ヵ月遅れとなったが、11月より『株式会社ジョイント』に移行した。 食事提供体制加算の算定を導入することにより、利用者様の昼食代の負担軽減に繋が																																		

で説明を行います。 ・ 10月から食事提供体制加算対応の業者での食事提供を実施します。	った。また、栄養バランスの取れた健康管理食を提供することで、利用者様の健康の増進に繋がることが期待できる。
3. 現在の意思決定支援計画表を見直し、より利用者様のニーズに沿った書式へと変更します。 推定される本人の意思に基づいた支援内容を中心とした意思決定支援計画表を作成し、より利用者様のニーズに沿ったサービス提供を行います。また基本報酬が営業時間による設定からサービス提供時間ごとの設定に変わるため『送迎時間を除いた標準的な支援時間』を意思決定支援計画表に明記します。	計画通り実施 基本となる送迎ルートに基づいて、送迎時間を除いた標準的な支援時間を明記し、実施。大規模工事などによる交通規制も鑑み、定期的に標準的な支援時間の見直しを行っていく。
4. 生活介護事業所の10名単位への再編に向けた取り組み 現行の20名単位から10名単位の事業への再編を目標に、サービス管理責任者の資格取得（2名）を積極的に推進します。	サービス管理責任者実践研修に関しては、申し込み多数で受講出来ず。また、生活介護の10名単位は多機能型事業所に限られたものと判明したが、実践研修の受講は、今後の事業拡大に備えて随時推進していく。
5. その他 [行事関係]	オプションで「散髪（月1回 希望者 1,980円）理美容サービス髪人」→月によって変動はあるが、19名の方が利用されている。 ・ 4/4 花見一大仙公園(利用者様38名、職員31名) ・ 5/31 ハピネス班レクリエーションー深北緑地(利用者様8名、職員4名) ・ 6/7 ひだまり班レクリエーションー伊丹スカイパーク(利用者様12名、職員8名) ・ 6/24 BBQー原池公園（利用者様37名、職員28名） ・ 7/23 ひだまり班、ハピネス班合同レクリエーションーラウンドワン(利用者様8名、職員7名) ・ なごみ班レクリエーションーミストミュージアム(利用者様10名、職員6名) ・ 7/31 いきいき班レクリエーションーミストミュージアム(利用者様7名、職員5名) ・ 8/6 ひだまり班、ハピネス班合同レクリエーションー長居障がい者スポーツセンター(利用者様6名、職員6名)

- ・ 8/19 ひだまり班、ハピネス班合同レクリエーションー長居障がい者スポーツセンター(利用者様 7 名、職員 5 名)
- ・ 8/21 いきいき班レクリエーションー金魚ミュージアム(利用者様 7 名、職員 5 名)
- ・ 8/23 なごみ班レクリエーションー金魚ミュージアム(利用者様 10 名、職員 7 名)
- ・ 9/13、14 一泊旅行ー三重県(伊勢夫婦岩ふれあい水族館、伊勢若松屋)(利用者様 39 名、職員 35 名)
- ・ 10/21 ひだまり班レクリエーションーワールド牧場(利用者様 12 名、職員 8 名)
- ・ 10/21 いきいき班レクリエーションーカップヌードルミュージアム(利用者様 8 名、職員 6 名)
- ・ 10/31 なごみ班レクリエーションーカワサキワールド(利用者様 10 名、職員 7 名)
- ・ 11/ 6 ハピネス班レクリエーションー食事(焼肉特急・くら寿司)(利用者様 9 名、職員 5 名)
- ・ 12/16 いきいき班レクリエーションーほしだ園地(利用者様 6 名、職員 5 名)
- ・ 12/18 ひだまり班レクリエーションーコカ・コーラ工場(利用者様 5 名、職員 5 名)
天王寺動物園(利用者様 7 名、職員 5 名)
- ・ 12/20 なごみ班レクリエーションーコカ・コーラ工場(利用者様 10 名、職員 7 名)
- ・ 12/28 忘年会ー和食さと(利用者様 37 名、職員 28 名)
- ・ 1/16 ハピネス班レクリエーションービッグ・バン(利用者様 8 名、職員 6 名)
- ・ 1/23 希望別レクリエーションーグリコピア神戸(利用者様 10 名、職員 7 名)
- ・ 1/28 希望別レクリエーションー京都鉄道博物館(利用者様 3 名、職員 2 名)
- ・ 1/30 希望別レクリエーションーぼんぼん山(利用者様 2 名、職員 2 名)
- ・ 1/31 希望別レクリエーションー京都鉄道博物館(利用者様 7 名、職員 5 名)
- ・ 2/ 5 希望別レクリエーションーグリコピア神戸(利用者様 7 名、職員 6 名)
- ・ 2/12 希望別レクリエーションーグリコピア神戸(利用者様 9 名、職員 6 名)
- ・ 2/13 ひだまり班レクリエーションーカップヌードルミュージアム(利用者様 12 名、職員 9 名)
- ・ 3/ 7 希望別レクリエーションー東住吉区地域交流センター(今林の里)(利用者様 9 名、職員 8 名)
- ・ 3/13 希望別レクリエーションーハイキング(明治の森箕面国定公園)(利用者様 10 名、職員 8 名)

[連携医療機関訪問による健康指導]

- ・ 3/17 希望別レクリエーションーカラオケ(レインボー)(利用者様 8 名、職員 4 名)
- ・ 3/18 希望別レクリエーションーだんじり会館(利用者様 4 名、3 名)
- ・ 3/19 希望別レクリエーションーカラオケ(レインボー)(利用者様 7 名、職員 5 名)
- ・ 3/21 希望別レクリエーションーだんじり会館(利用者様 4 名、職員 3 名)
- ・ 3/24 いきいき班食事会ーフォルクス(針中野店)(利用者様 7 名、職員 5 名)
- ・ 3/25 ひだまり班希望別レクリエーションー錦わらい(松原店)(利用者様 12 名、職員 7 名)
- ・ 3/31 なごみ班食事会ーフォルクス(針中野店)(利用者様 10 名、職員 7 名)
- ・ 3/31 ハピネス班食事会ーフォルクス(針中野店)(利用者様 9 名、職員 5 名)

[連携医療機関訪問による健康指導]

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
2 3 日	2 8 日	2 5 日	2 5 日	2 7 日	2 4 日
1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月
2 2 日	2 6 日	1 7 日	2 1 日	2 5 日	2 5 日

[修繕関係]

[修繕関係]

	事業費・事務費より支出
4 月	
5 月	・ 本館フラッシュバルブ取付 ・ハイエース ボトルキープ ・ ノア② パネル交換
6 月	
7 月	・ 本館 玄関補修、事務所ガラス入れ替え 事務所・更衣室壁紙張替 ・ 新館 トイレ詰まり除去
8 月	
9 月	・ リアン作業室2 トイレ便座修繕 ・キャラバン エアコンパネル修理
1 0 月	・ セレナ タイヤパンク修理 ・リアン トイレ詰まり修理
1 1 月	・ キャラバン バッテリー交換
1 2 月	・ ノア4 エンジンオイル交換

	1月							
	2月	・ハイエース、ノア3 タイヤ交換 ・ハイエース、ノア2 バッテリー交換						
	3月							

生活介護「こんふおーと」 [登録利用者数] 21名 [職員配置] ・人員配置体制加算（Ⅰ）型【1. 5対1】 ・福祉専門職配置体制加算（Ⅰ）型 常勤の生活支援員のうち、国家資格保持者（社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、公認心理師）が35%以上で算定可能 [常勤配置11人中5人が国家資格保持者（45%）] ※サビ管除く ・福祉専門職員配置等加算（Ⅲ）型 ① 生活支援員等のうち常勤職員が75%以上 ② 常勤の生活支援員のうち、3年以上従事している従業者が30%以上 上記のいずれかで算定可能。 [常勤配置11人中5人が3年以上従事] ※サビ管除く	[登録利用者数] 21名 [月別利用実績]								
		4月	5月	6月	7月	8月		9月	
	開所日数	22	23	21	23	22	開所日数	22	
	区分6 18人	316	331	289	304	289	区分6 19人	327	
	区分5 3人	48	51	58	65	61	区分5 2人	43	
	合 計	364	382	347	369	350	合 計	370	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	一日平均
	開所日数	23	22	22	22	20	22	264	
	区分6 19名	335	321	309	315	291	318	3745	14.19名
	区分5 2名	46	43	43	43	40	43	584	2.21名
	合 計	381	364	352	358	331	361	4329	16.4名
	※9月より利用者様1名が障がい支援区分5から6に変更。 [送迎利用（重度加算あり）]								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
	利用人数	20	20	20	20	20	20		
	内 区分5、6	20	20	20	20	20	20		
延べ利用回数	651	672	629	662	633	640			
内 区分5、6	651	672	629	662	633	640			

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
利用人数	20	20	20	20	20	20	120
内 区分5、6	20	20	20	20	20	20	120
延べ利用回数	704	670	647	662	609	665	7844
内 区分5、6	704	670	647	662	609	665	7844

[生活支援員の配置]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
基準配置	1496	1564	1428	1564	1496	1496
予定配置	1710.5	1746.9	1836.4	1817.7	1690.6	1802.0
実績配置	1511.6	1580.1	1535.8	1763.3	1692.9	1788.5
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基準配置	1564	1496	1496	1496	1360	1496
予定配置	1823.6	1878.4	1736.5	1882.2	1605.4	1796.7
実績配置	1913.2	1871.9	1798.1	1889.3	1569.2	2030.4

[重度加算算定率]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用実績	347	361	322	342	325	341
重度加算	347	361	322	342	325	341
算定率	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用実績	353	335	323	329	304	333
重度加算	353	335	323	329	304	333
算定率	100%	100%	100%	100%	100%	100%

※令和6年度報酬改定前の重度障がい者支援加算

基礎研修修了者1名につき利用者5名まで重度障がい者支援加算の算定可能。算定において
従事した4時間は生活支援員としての従事時間から引くことが必要。

※令和6年度報酬改定後の重度障がい者支援加算

人員配置体制加算により配置される人員に加え、対象利用者の支援のために必要と認められ

	る数の人員を加配していること。常勤換算方法で、基準を超える人員が配置されていれば足りる。								
生活介護「リアン・リバティ」 [登録利用者数] 22名 [職員配置] ・人員配置体制加算（Ⅰ）型【1.5対1】 ・福祉専門職配置体制加算（Ⅰ）型 常勤の生活支援員のうち、国家資格保持者（社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、公認心理師）が35%以上で算定可能 [常勤配置14人中11人が国家資格保持者（78%）] ※サビ管除く ・福祉専門職員配置等加算（Ⅲ）型 ① 生活支援員等のうち常勤職員が75%以上 ② 常勤の生活支援員のうち、3年以上従事している従業者が30%以上 上記のいずれかで算定可能。 [常勤配置14人中6人が3年以上従事（42%）] ※サビ管除く	[登録利用者数] 22名 [月別利用実績] ・主たる事業所「リアン」								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
	開所日数	22	23	21	23	22	22		
	区分6 11人	241	252	227	253	234	242		
	区分5 1人	21	22	19	23	20	19		
	合 計	262	274	246	276	254	261		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	一日平均
	開所日数	23	22	22	22	20	22	264	
	区分6 11人	253	241	241	238	215	239	2876	10.89名
	区分5 1人	23	22	22	22	20	22	255	0.97名
	合 計	276	263	263	260	235	261	3131	11.86名
	・従たる事業所「リバティ」								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
	開所日数	22	23	21	23	22	22		
	区分6 8人	155	156	132	161	144	143		
	区分5 1人	22	22	18	19	20	22		

区分4 1人	22	22	18	23	21	21		
合 計	199	200	168	203	185	186		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	一日平均
開所日数	23	22	22	22	20	22	264	
区分6 8人	156	148	147	145	138	148	1773	6.72名
区分5 1人	23	21	21	21	19	22	250	0.95名
区分4 1人	23	21	21	21	20	21	254	0.96名
合 計	202	190	189	187	177	191	2277	8.63名

[送迎利用（重度加算あり）]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
利用人数	22	22	22	22	22	22		
内 区分5、6	21	21	21	21	21	21		
延べ利用回数	889	915	797	918	848	832		
内 区分5、6	845	871	761	872	806	792		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
利用人数	22	22	22	22	22	22	264	
内 区分5、6	21	21	21	21	21	21	252	
延べ利用回数	918	881	872	861	795	873	10399	
内 区分5、6	872	839	831	819	755	831	9894	

[生活支援員の配置]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
基準配置	2112	2208	2016	2208	2112	2112
予定配置	2233.1	2345.1	2160.4	2241.4	2160.6	2354.2

	実績配置	2302.8	2309.8	2167.7	2248.8	2122.7	2337.5
		10月	11月	12月	1月	2月	3月
	基準配置	2208	2112	2112	2112	1920	2112
	予定配置	2340.2	2406.1	2267.4	2420.3	2226.7	2437.4
	実績配置	2293.6	2327.3	2123.1	2294.3	2151.1	2463.7
	[重度加算算定率]						
		4月	5月	6月	7月	8月	9月
	利用実績	439	453	396	456	417	426
	重度加算	439	453	396	456	417	426
	算定率	100%	100%	100%	100%	100%	100%
		10月	11月	12月	1月	2月	3月
	利用実績	455	432	431	426	392	431
	重度加算	455	432	431	426	392	431
	算定率	100%	100%	100%	100%	100%	100%
7. 居宅介護(行動援護・移動支援) 【事業目標】 ：コロナ禍における行き先・公共交通機関の制限を撤廃し、より利用者様のニーズ、希望に沿った計画・支援を実施します。 1. 行き先・公共交通機関の制限を撤廃し、利用者様のニーズや希望に寄り添った計画・支援を実施します。(例、ユニバーサルスタジオジャパン、神戸や京都観光など) 4月：神戸市立王子動物園（利用者様5～8名）、 5月：京都水族館（利用者様5～8名）を計画します。(単独だけではなく、利用者様の希望によるグループでの外出も含めて計画し、熟練したヘルパーも同行)	1. OJT研修として、毎月1回実施。 利用者様の経験拡大となり、ヘルパーの技術や知識向上に繋がった。 4月：京都水族館（利用者様6名、ヘルパー6名） 5月：神戸どうぶつ王国（利用者様5名、ヘルパー6名） 6月：ニフレル（利用者様8名、ヘルパー9名） 7月：金魚ミュージアム（利用者様7名、ヘルパー8名） 8月：神戸海洋博物館（利用者様6名、ヘルパー6名） 9月：神戸バンドー青少年科学館（利用者様8名、ヘルパー9名） 10月：スポッチャ（利用者様8名、ヘルパー10名）						

その後についても月1回程度外出企画を設定し、利用者様の充足度の向上、ヘルパーの技術向上に繋がります。

2. 重度障がい者等包括支援の事業指定準備を進め、令和6年10月1日付での指定を目指します。

3. 令和7年4月1日付で重度訪問介護の事業指定（入院時の付き添い等）を行うため、従業者の資格取得を進めます。

4. 行動援護の特定事業所加算の見直しこれまでに加え、行動援護計画、支援計画シート及び支援手順書の作成及び利用者に対する交付の際、医療機関、教育機関等と連絡及び調整を行い、利用者に関する情報の提供を受ける（令和9年までの経過措置）。またサービス提供責任者が中核的人材養成研修を受講する。

5. 行動援護

●登録利用者数19名（令和6年4月登録予定）

●登録時間数838時間

●登録従業者数 管理者1名 男性19名 女性13名 合計32名（令和6年4月登録予定）

●斡旋時間見込み 286時間

1 1月：神戸市立王子動物園（利用者様9名、ヘルパー10名）

1 2月：京都市青少年科学センター（利用者様7名、ヘルパー8名）

1月：大日イオン 映画鑑賞（利用者様8名、ヘルパー8名）

2月：車椅子バスケットボール観戦（利用者様9名、ヘルパー10名）

3月：神戸空港アミューゼフェスタ（利用者様4名、ヘルパー6名）

2. 重度障がい者等包括支援事業のサービス提供責任者になるには、相談支援専門員の資格が必要となるため、資格取得を進める。

3. 令和7年4月1日付で重度訪問介護の事業指定の手続き完了。

●行動援護 月別斡旋時間数

	稼働ヘルパー数	活動時間		稼働ヘルパー数	活動時間
4月	26人	404時間	10月	27人	411時間
5月	24人	299時間	11月	24人	356時間
6月	25人	275.5時間	12月	24人	395時間
7月	25人	392時間	1月	24人	313.5時間
8月	27人	341時間	2月	24人	436時間
9月	25人	358.5時間	3月	22人	351.5時間

本年度 4333時間（昨年度3874時間）

		単位数	回数	総単位数
イ	30分未満	288	36	10368
ロ	30分以上1時間未満	437	184	80408
ハ	1時間以上1時間30分未満	619	431	266789
ニ	1時間30分以上2時間未満	762	393	299466
ホ	2時間以上2時間30分未満	905	3	2715
ヘ	2時間30分以上3時間未満	1047	13	13611
ト	3時間以上3時間30分未満	1191	4	4764
チ	3時間30分以上4時間未満	1334	25	33350
リ	4時間以上4時間30分未満	1479	12	17748
ヌ	4時間30分以上5時間未満	1623	18	29214
ル	5時間以上5時間30分未満	1764	6	10584
ヲ	5時間30分以上6時間未満	1904	83	158032
ワ	6時間以上6時間30分未満	2046	48	98208
カ	6時間30分以上7時間未満	2192	186	407712
ヨ	7時間以上7時間30分未満	2340	23	53820
タ	7時間30分以上	2485	5	12425
合 計			1470	1499314

台風による影響や利用者様、ヘルパーの体調不良等もあったが、ヘルパーに声をかけ呼びかけたことにより、**幹旋時間は平均361.5時間と、見込み時間を上回った。**

6, 移動支援

●幹旋時間見込み 毎月6時間

●移動支援 月別幹旋時間数

	稼働ヘルパー数	活動時間		稼働ヘルパー数	活動時間
4月	0人	0時間	10月	0人	0時間
5月	1人	6時間	11月	1人	6時間
6月	0人	0時間	12月	0人	0時間
7月	1人	6時間	1月	1人	6時間
8月	0人	0時間	2月	0人	0時間

	<table><tr><td>9月</td><td>1人</td><td>6時間</td><td>3月</td><td>1人</td><td>6時間</td></tr></table> 本年度 36時間（昨年度29.5時間） 利用者様の居住地が遠方ということもあり、移動時間の関係上、派遣できるヘルパーが限られた影響で毎月の幹旋は出来ず、2か月に1件ずつの幹旋にとどまった。	9月	1人	6時間	3月	1人	6時間																																																																														
9月	1人	6時間	3月	1人	6時間																																																																																
8. 短期入所「ルポゼ」 1. ≪上期利用延べ見込み数≫ 1052名（男性468名、女性584名）	≪利用実績≫ 1233名（男性423名、女性810名） ※前年度 722名（男性209名、女性513名） ●男女とも体調不良（コロナ、インフルエンザ等）でのキャンセルはあったものの、「予定通り開所できたこと」「キャンセルがあった際その他利用者様への呼びかけ」等行ったことにより、見込み人数を181名上回った。 <table><tr><td>・</td><td>4月</td><td>男性一月4回</td><td>1日平均3.50人</td></tr><tr><td></td><td></td><td>女性一月8回</td><td>1日平均4.25人</td></tr><tr><td>・</td><td>5月</td><td>男性一月4回</td><td>1日平均4.00人</td></tr><tr><td></td><td></td><td>女性一月7回</td><td>1日平均4.28人</td></tr><tr><td>・</td><td>6月</td><td>男性一月4回</td><td>1日平均3.75人</td></tr><tr><td></td><td></td><td>女性一月8回</td><td>1日平均4.00人</td></tr><tr><td>・</td><td>7月</td><td>男性一月5回</td><td>1日平均4.60人</td></tr><tr><td></td><td></td><td>女性一月8回</td><td>1日平均4.62人</td></tr><tr><td>・</td><td>8月</td><td>男性一月4回</td><td>1日平均4.25人</td></tr><tr><td></td><td></td><td>女性一月7回</td><td>1日平均3.42人</td></tr><tr><td>・</td><td>9月</td><td>男性一月4回</td><td>1日平均4.25人</td></tr><tr><td></td><td></td><td>女性一月7回</td><td>1日平均4.14人</td></tr><tr><td>・</td><td>10月</td><td>男性一月5回</td><td>1日平均3.80人</td></tr><tr><td></td><td></td><td>女性一月9回</td><td>1日平均4.66人</td></tr><tr><td>・</td><td>11月</td><td>男性一月4回</td><td>1日平均4.00人</td></tr><tr><td></td><td></td><td>女性一月9回</td><td>1日平均4.44人</td></tr><tr><td>・</td><td>12月</td><td>男性一月4回</td><td>1日平均4.00人</td></tr><tr><td></td><td></td><td>女性一月8回</td><td>1日平均4.37人</td></tr><tr><td>・</td><td>1月</td><td>男性一月4回</td><td>1日平均4.25人</td></tr><tr><td></td><td></td><td>女性一月8回</td><td>1日平均4.37人</td></tr><tr><td>・</td><td>2月</td><td>男性一月4回</td><td>1日平均4.50人</td></tr></table>	・	4月	男性一月4回	1日平均3.50人			女性一月8回	1日平均4.25人	・	5月	男性一月4回	1日平均4.00人			女性一月7回	1日平均4.28人	・	6月	男性一月4回	1日平均3.75人			女性一月8回	1日平均4.00人	・	7月	男性一月5回	1日平均4.60人			女性一月8回	1日平均4.62人	・	8月	男性一月4回	1日平均4.25人			女性一月7回	1日平均3.42人	・	9月	男性一月4回	1日平均4.25人			女性一月7回	1日平均4.14人	・	10月	男性一月5回	1日平均3.80人			女性一月9回	1日平均4.66人	・	11月	男性一月4回	1日平均4.00人			女性一月9回	1日平均4.44人	・	12月	男性一月4回	1日平均4.00人			女性一月8回	1日平均4.37人	・	1月	男性一月4回	1日平均4.25人			女性一月8回	1日平均4.37人	・	2月	男性一月4回	1日平均4.50人
・	4月	男性一月4回	1日平均3.50人																																																																																		
		女性一月8回	1日平均4.25人																																																																																		
・	5月	男性一月4回	1日平均4.00人																																																																																		
		女性一月7回	1日平均4.28人																																																																																		
・	6月	男性一月4回	1日平均3.75人																																																																																		
		女性一月8回	1日平均4.00人																																																																																		
・	7月	男性一月5回	1日平均4.60人																																																																																		
		女性一月8回	1日平均4.62人																																																																																		
・	8月	男性一月4回	1日平均4.25人																																																																																		
		女性一月7回	1日平均3.42人																																																																																		
・	9月	男性一月4回	1日平均4.25人																																																																																		
		女性一月7回	1日平均4.14人																																																																																		
・	10月	男性一月5回	1日平均3.80人																																																																																		
		女性一月9回	1日平均4.66人																																																																																		
・	11月	男性一月4回	1日平均4.00人																																																																																		
		女性一月9回	1日平均4.44人																																																																																		
・	12月	男性一月4回	1日平均4.00人																																																																																		
		女性一月8回	1日平均4.37人																																																																																		
・	1月	男性一月4回	1日平均4.25人																																																																																		
		女性一月8回	1日平均4.37人																																																																																		
・	2月	男性一月4回	1日平均4.50人																																																																																		

	女性一月8回 1日平均4.25人 ・ 3月 男性一月5回 1日平均4.40人 女性一月7回 1日平均4.71人							
2. 登録利用者数《内、重度加算対象者数》 男性13名《内9名》・女性14名《内13名》 ・区分6 男性10名 女性13名 ・区分5 男性 3名 女性 0名 ・区分4 男性 1名 女性 0名 ・区分3 男性 0名 女性 1名 (令和6年4月1日現在)	2. 登録利用者数 28名 男性16名《内15名》・女性14名《内13名》 ・区分6 男性 11名 女性13名 ・区分5 男性 3名 女性 0名 ・区分4 男性 1名 女性 0名 ・区分3 男性 0名 女性 1名 稼働利用者数 男性8名、女性8名 16名 (令和6年4月1日～令和7年3月31日の実績)							
3. 職員配置 ・管理者兼生活支援員 女性1名(内1名) ・生活支援員 男性3名(内3名) 女性3名(内3名) ・栄養士 女性1名 ※生活支援員は生活介護事業の生活支援員と兼務 ※()は行動援護又は強度行動障がい支援者資格者	3. 職員配置 ・管理者兼生活支援員 女性1名(内1名) ・生活支援員 男性3名(内3名) 女性3名(内3名) ・栄養士 女性1名							
4. 食事提供(職員込み)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	朝食延べ提供回数 1食300円	42食	52食	47食	60食	44食	39食	
	夕食延べ提供回数 1食500円	62食	59食	60食	70食	55食	47食	
	食費徴収合計	43600円	43100円	44100円	53000円	40700円	35200円	
	食材料費支出合計	37885円	43542円	38496円	48607円	38067円	34843円	

		10月	11月	12月	1月	2月	3月
	朝食延べ提供回数 1食300円	61食	53食	52食	52食	52食	55食
	夕食延べ提供回数 1食500円	74食	64食	64食	63食	65食	66食
	食費徴収合計	55300円	47900円	47600円	47100円	48100円	49500円
	食材料費支出合計	61858円	39503円	47046円	39396円	44823円	53882円
	食費徴収合計 555,200円 食材料費支出合計 527,948円 差し引き 27,252円						
5. 光熱水費		4月	5月	6月	7月	8月	9月
	延べ提供日数 1日350円	98日	104日	94日	120日	82日	92日
	利用者光熱水費徴収合計	34300円	36400円	32900円	42000円	28700円	32200円
	光熱水費支出合計	35832円	36679円	35752円	44879円	59931円	49313円
		10月	11月	12月	1月	2月	3月
	延べ提供日数 1日350円	122日	116日	102日	104日	103日	110日
	利用者光熱水費徴収合計	42700円	40600円	35700円	36400円	36050円	38500円
	光熱水費支出合計	35664円	36475円	41946円	52692円	46706円	43880円

	光熱水費徴収合計 4 3 6,4 5 0 円 光熱水費支出合計 5 1 9,7 4 9 円 差し引き − 8 3,2 9 9 円
9. 相談支援 【事業目標】: 独立性と客観性を重視した利用者本位を貫いた上での、事業所間連携の強化 ① 利用者様の状況変化をより正確に把握し、速やかな課題検討、課題解決に向けるため、モニタリング頻度の見直し（例：3 カ月に一度→2 カ月に一度）を行います。 ② 事業単体での黒字化を図るため、相談支援専門員一人当たりの計画相談件数 43 件を速やかに達成するべく、新規利用契約に取り組みます。 ③ サービス等利用計画作成時（年一回）に行うサービス担当者会議を半年毎の開催にすることで、事業所間での情報共有、課題分析、支援の統一を図り、サービスの質の向上に繋がります。 ④ 相談支援専門員現任研修の受講を推し進め、修了後は機能強化型事業所へのシフト（機能強化型Ⅲを算定し、将来的には機能強化型Ⅱを目指す）を行い、事業運営の安定化を図ります。 ⑤ モニタリング月には、可能な限り調整を行い、利用者様の医療機関への定期通院に同行（医療・保育・教育機関等連携加算）し、情報の共有を図ることで、サービスの質の向上に繋がります。 ⑥ 独立性と客観性を重視した利用者本位の立場を貫いた相談支援専門員としてサービスの質の向上を目指します。	① 現在契約している利用者様のモニタリング頻度を見直し、2 カ月に一度モニタリングを実施中。（2 名は毎月モニタリング）。 ② 令和 7 年 3 月末時点の計画相談件数は 32 件で前年度から 6 件増。今後も積極的に新規利用契約に取り組んでいく。 ③ サービス担当者会議は半年に一度開催し、積極的に事業所間での情報共有、課題分析、支援の統一を図っている。 ④ 相談支援専門員現任研修を 3 月に受講修了。機能強化型Ⅲへの移行のため、大阪市への変更申請を行う（3 月中に申請済み）。 ⑤ モニタリング月の通院同行については、通年で 1 件に留まった。引き続き、必要に応じて調整を行い、通院同行を通して、情報共有、サービスの質向上に繋がっていく。 ⑥ 1 月より大阪市施設入所者地域生活移行促進事業に参画。施設入所者の地域移行に向けた取り組みとして、概ね月に 3 回の外出支援を行い、社会経験や地域交流を通じて、地域生活のイメージづくりを進めている。
10. 当事者の会 ・当事者の会の運営マニュアルを作成し、当事者の会の	・当事者の会の運営マニュアルは作成済み。

運営・会議の開催を実施します。 ・4月に利用者様の写真を載せた投票用紙を作成して投票を行い、班ごとに代表者（役員）を選出します。※視覚での選択が難しい利用者様には担当職員が個別に聞き取ってのアンケートを行います。 ・意思決定支援計画表作成の際にはご本人に参加していただき、視覚的要素（絵や写真、映像）、聴覚的要素（音楽や音声）など選択に必要な手段を用いて希望の活動や予定などを確認し、充足度の向上へと繋がります。 ・希望別レクリエーションのアンケートなども同様に、選択に必要な手段を用いて、意思の表出が難しい方については担当職員が本人の最善の利益に基づいて選択を行います。（代行決定） ・令和7年3月に次年度の役員を決めるための投票を行います。	・4月に利用者様の写真を載せた投票用紙を用いて各班内で投票を行った。同票で代表者が決定しない班もあったため、班によって複数の役員を選出する。 ・意思決定支援計画表作成の際に、ご本人参加のもとサービス担当者会議を行い、希望の活動や予定などの確認を行っている。 ・レクリエーションや一泊旅行については、事前に利用者様からアンケートを取り、内容や行き先の参考とさせていただいている。
1 1. 実習の受け入れ 【大阪城南女子短期大学 実務者研修】 【南海福祉看護専門学校 介護社会福祉科】 【大阪芸術大学短期大学部 保育学科】 【大阪総合保育大学（小学校および中学校の教諭の普通免許授与に関わる介護等体験）】	【大阪城南女子短期大学 実務者研修】 ・8/19～8/30 大阪城南女子短期大学 総合保育学科 1名 ・9/2～9/14 大阪城南女子短期大学 総合保育学科 1名 【南海福祉看護専門学校 介護社会福祉科】 ・11/25～12/19 南海福祉看護専門学校 介護社会福祉科 1名 【大阪芸術大学短期大学部 保育学科】 ・9/30～10/11 大阪芸術大学短期大学部 保育学科 1名 ・11/25～12/6 大阪芸術大学短期大学部 保育学科 2名 ・2/24～3/7 大阪芸術大学短期大学部 保育学科 2名 【大阪総合保育大学（小学校および中学校の教諭の普通免許授与に関わる介護等体験）】 ・なし
1 2. 健康維持増進 ※感染症検便検査 ➡利用者様・職員ともに必須検査 ※大腸がん検便検査➡利用者様・職員ともに選択制	6/21（金）、11/22（金）に健康診断（一般社団法人 関西健康福祉協会）を実施。

1 4. 業務継続計画（BCP）※令和6年度より設置義務	(一) 感染症（新型コロナ・インフル等） (二) 自然災害（南海トラフ等） ●委員長 辻 正晃 統括施設長 ●副委員長 栗根 亮 施設長 ●副委員長 森 正明 施設長 ●委員 津司真木子 施設長代理 ●委員 川端 友之 本部長代理 ●委員 東中尾竜治 主任 ●委員 西方 守 主任 ●委員 柳澤 正博 主任・池田 副主任 （委員会運営・訓練・研修・点検）
1 5. 全体職員会議、専門研修（外部講師） ① 令和6年度 個別研修計画（常勤）、個別研修計画（非常勤） ② 専門研修（外部講師） ③外部研修（福祉専門職としての使命や倫理観の向上を目的とする）	・6/8(土)『労務研修』木村憲治氏 『セルフ・コンパッション②』太田哲二氏 ・1/18(土) 業務継続計画(BCP)『他法人のBCPの取り組みを知り、防災の見直し・強化を図る』希望の園 理事 園長 蔭山 勲氏 ・3/22 (土)「各ハラスメントの動向と福祉施設におけるハラスメント防止」大阪城南女子短期大学 教授 前田 崇博氏 ・4/15(月)白石支援員・田渕支援員『新人職員のためのサービスマナーセミナー』 ・6/13(木)高井リーダー、6/27(木)三村リーダー『スーパーバイザー養成基礎研修』 ・6/20(木)池田副主任『購買意欲を高める広報の魅せ方とは』 ・6/21(金)津司施設長代理『面接相談援助技術基礎講座』 ・7/4(木)、5(金)久保理事長、辻統括施設長『全国社会就労センター総合研究大会』 ・7/11(木)、12(金)森施設長・柳澤主任『全国知的障がい関係施設長等会議』 ・8/6(火)川端本部長代理『オンライン労働セミナー』 ・8/29(木)川端本部長代理『安全運転管理者講習』 ・9/2(月)、10/7(月)、12/2(月)西方主任『障がい児者施設専門ゼミナール』 ・9/2(月)、9(月)、17(火)遠藤支援員『福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程【初任者】』 ・10/3(木)、4(金)栗根施設長、門田班長、壬生支援員『全国知的障がい福祉関係職

	員研究大会』 ・11／8(金)白石支援員『支援者に求められる感性と想像力・創造力』 ・11／8(金)大西支援員『集団指導者養成研修』 ・11／28(木)張副主任『障がい者福祉とソーシャルイノベーション』 ・12／20(金)栗根施設長『障がい児者救護施設（テーマ別Ⅱ）』 ・12／23(月)橋田支援員『認知症における意思決定支援について』 ・1／9(木)中塚リーダー『上級救命講習』 ・2／20(木)平野リーダー『虐待防止障がい者施設課程テーマⅠ』
1 6．キャリアアップ支援（助成）制度 ●下記、法人が必要と認める資格を取得する場合の費用負担制度。 ※別紙規定あり 1．第2種衛生管理者 2．相談支援従事者初任者研修（2日課程） 3．相談支援従事者初任者研修（7日課程） 4．サービス管理責任者 更新研修 5．サービス管理責任者 実践研修 6．サービス管理責任者 基礎研修 7．相談支援従事者現任研修 8．介護福祉士実習指導者研修 9．介護福祉士実務者研修修了 10．行動援護従業者資格 11．強度行動障がい支援者養成研修（基礎） 12．強度行動障がい支援者養成研修（実践） 13．中核的人材養成研修 14．その他 ・国家資格又は受験資格を得るための学習会等の情報を提供する。 ・資格取得の際の勤務等を配慮し、機会確保を支援する。	1．管理職が受講予定 2．中村副主任が6月に受講済み。 3．受講者無し。 4．東中尾主任が1月に受講済み。 5．申し込み多数により受講できず。 6．辻統括施設長が1月に、中村副主任が3月に受講済み。 7．栗根施設長が3月に受講済み。 8．受講者無し。 9．受講者無し。 10．富平支援員が2月に受講済み。 11．受講者無し。 12．受講者無し。 13．今年度は受講対象者無し。 14．その他 ・国家資格や受験資格を得るための情報を随時、対象者に発信している。 ・研修等のスケジュールを考慮して勤務調整を行っている。
1 7．事務所の配置	計画通り実施。

貸借対照表

令和7年3月31日 現在

資産の部	
流動資産	386,769,280
現金	894,286
預金	88,591,093
未収金	289,899,580
貯蔵品	202,662
立替金	481,544
前払金	6,700,115
固定資産	350,754,188
基本財産	313,923,222
建物	177,652,160
土地	136,271,062
その他の固定資産	36,830,966
建物付属設備	7,609,911
構築物	828,644
車輛運搬具	4,739,930
器具及び備品	3,477,089
建設積立預金	20,175,392
資産の部合計	737,523,468
負債の部	
流動負債	255,118,751
未払金	254,627,393
預り金	491,358
固定負債	24,472,000
設備資金借入金	24,472,000
負債の部合計	279,590,751
純資産の部	
基本金	218,750,467
3号基本金	218,750,467
その他の積立金	45,000,000
人件費積立金	15,000,000
修繕積立金	15,000,000
備品等購入積立金	15,000,000
次期繰越活動収支差額	194,182,250
次期繰越活動収支差額 (うち当期活動収支差額)	194,182,250 5,923,143
純資産の部合計	457,932,717
負債及び純資産の部合計	737,523,468

事業活動収支計算書

(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日

勘定科目			本年度決算
事業活動収支の部	収入	自立支援費等収入	325,628,883
		補助事業等収入	0
		利用料収入	10,051,050
		処遇改善交付金収入	38,840,249
		就労事業収入	876,140
		寄附金収入	3,445,160
		雑収入	2,884,067
		事業活動収入計(1)	381,725,549
支出	人件費支出	309,198,132	
	事務費支出	30,680,622	
	事業費支出	23,240,538	
	減価償却費	12,077,229	
	事業活動支出計(2)	375,196,521	
事業活動収支差額(3)=(1)-(2)			6,529,028
事業活動外収支の部	収入	受取利息配当金収入	88,297
		経理区分間繰入金収入	2,791,204
		事業活動外収入計(4)	2,879,501
	支出	借入金利息支出	199,046
		経理区分間繰入金支出	2,791,204
		事業外雑損失	495,134
		事業活動外支出計(5)	3,485,384
事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)			-605,883
経常収支差額(7)=(3)+(6)			5,923,145
特別収支の部	収入	固定資産売却益(売却収入)	0
		その他の特別収入	0
		特別収入計(8)	0
	支出	固定資産売却損・処分損(売却原価)	2
		その他の特別損失	0
		特別支出計(9)	2
特別収支差額(10)=(8)-(9)			-2
当期活動収支差額(11)=(7)+(10)			5,923,143
繰越活動の部	前期繰越活動収支差額(12)		188,259,107
	当期末繰越活動収支差額(13)=(11)+(12)		194,182,250
	次期繰越活動収支差額(18)=(13)+(14)-(15)+(16)-(17)		194,182,250

以上の通り提出します。

特定非営利活動法人 だんでらいおん
理事長 久 保 哲 哉

以上の決算書を公正妥当な監査基準により監査し
いずれも適法正確なる事を証明する。

令和 7 年 5 月 19 日

監事 木 村 憲 治 

以上の通り提出します。

特定非営利活動法人 だんでらいおん
理事長 久保 哲哉

以上の決算書を公正妥当な監査基準により監査し
いずれも適法正確なる事を証明する。

令和 7 年 5 月 15 日

監事

奥西 将平



令和7年度 事業計画（案）

だんでらいおん50年構想 基本ビジョン（2005年～2055年）

（長期目標）

1	法人理念である「親亡き後、安全で安心して過ごせる施設づくり」を果たすために、居宅支援部を通して、 高齢化・終末期に対応できる第1種社会福祉事業 （主として入所施設サービス）・ 社会福祉法人化 への認可を実現します。
2	公益の増進を目的とした法人として、社会福祉協議会・自立支援協議会・関係機関との連携を強化して、 より一層、地域への社会貢献 に参画します。
3	職員が心身ともに健やかに 仕事と家庭の両立が継続 できるように 職場環境の向上 を果たします。
4	国家資格を持つ介護職員等の賃金を引き上げるため積極的な投資を行い、 専門職としての価値 を高めます。併せて、 賃金に見合う質の高いサービス が提供できるように意識改革・知識・技術の獲得のため、研鑽の機会を増やします。
5	職員が利用者様へ深い愛情と専門性をもって業務遂行ができるように支援現場のニーズに沿った環境づくりに積極的な投資を行い、 離職0・虐待0・身体拘束0 を実現します。
6	利用者様の意思を尊重した支援を積み重ね、尊厳のある本人らしい生活を継続していきます。
7	安定的に収益が確保できるように新規利用者の受け入れ・ 事業拡大 ・BCP（災害・感染症）の策定・更新など、 強靱な財政基盤 を確立します。

（短期目標）

1	在宅利用者様の更なる自立に向けて、通所支援部を通して既存の建物を活用して グループホーム（短期入所と併用の日中サービス支援型共同生活援助） を設置します。
2	職員への強度行動障がいに関連する資格取得・継続的な研修の機会、手厚い職員配置 等に、積極的な投資を行い、 重度の知的障がい者（強度行動障がい・自閉症 等）を専門的にサービスの提供ができる事業所 として確立します。
3	デジタルトランスフォーメーションを実現のため、 ICT環境整備に積極的に投資 します。業務効率化、顧客満足度（安心・安全・質の高いサービスの提供）を推し進めます。

令和7年度事業計画 方針（案）

（１）理事会 組織《任期満了に伴う再任 案》について

役 職	現		新
理事長	久保哲哉	→	再 任
副理事長	米田一代	→	再 任
理 事	苗村登美子	→	退 任
理 事	飯島伸一	→	再 任
理 事	市川貞子	→	再 任
理 事	大原敏江	→	再 任
理 事	山本健太	→	再 任
理 事	秋本佳子	→	再 任
理 事	辻 正晃	→	再 任
理 事	蔭山 勲	→	新 任
監 事	奥西将平	→	再 任
監 事	木村憲治	→	再 任
顧問弁護士	塚本博美	→	退 任
顧問弁護士	本元宏和	→	新 任

① （退任）理事

○苗村登美子 理事としての在任期間 20年

② （新任）理事

○蔭山 勲 社会福祉法人 自興会 障がい者支援施設 希望の園 園長

③ （新）顧問弁護士

○本元宏和 さくら北浜法律事務所

- ・顧問報酬 50,000円／月（及び消費税）
- ・付帯業務ー役員及び従業員から私生活上の法律問題について相談を受けることができる。
- ・相談は、甲との間で利益相反を生じないもので、かつ、甲の役員及び従業員を相手方としないものに限るものとする。
- ・1人につき年に1回に限り、無料で相談を受けることとする。

（２）虐待、身体的拘束に対する処分基準

虐待防止・身体的拘束廃止の観点から就業規則を見直し、該当行為に対する厳正な処分の基準を検討する。

(3) 定款の変更

- (種別) ・ 常務理事の追加
- (職務) ・ 常務理事は、理事長を補佐する立場であり、業務遂行・事業拡大における最高責任者。

○辻 正晃 統括施設長を常務理事（統括施設長を兼務）に昇格する。

給与については年俸制とし、その他、保険、退職金などは、統括施設長に準拠する。

- ・ 令和7年6月1日より施行する。
- ・ 統括施設長 850,000円／月

(4) 理事報酬規程の変更

(交通費) ・ 理事及び監事 交通費1回あたり 7,000円 ⇒ 10,000円

(5) 就業規則の改定

①定年延長について

定年の延長	61歳→62歳 ※本人の希望により60歳で定年にするができる。
-------	------------------------------------

②再雇用制度の期間延長について

再雇用制度の期間延長	62歳～67歳まで利用できる。 ※本人の希望により60歳～利用できる。
------------	--

③リフレッシュ特別休暇（欠勤がある場合の対応）

リフレッシュ休暇	・ 特別休暇5日、公休2日を組み合わせて7連休を年に一回取得する。 ※欠勤がある場合、特別休暇の付与を短縮または支給しない場合がある。
----------	--

④特別休暇

親の介護 特別休暇	・ 要介護認定で要介護1以上の父母（配偶者の父母を含む）の急な受診や急な介護が必要となった際に、介護者が当該職員しかない場合に限り、月1日の特別休暇を請求することができる。
-----------	--

⑤就業時間の変更（実働 7時間55分⇒7時間50分へ）

就業時間の変更	日勤A： 8時35分～17時10分（実働 7時間50分・休憩適宜45分） 日勤B： 9時35分～18時10分（実働 7時間50分・休憩適宜45分） 遅出A： 10時55分～19時30分（実働 7時間50分・休憩適宜45分） 遅出B： 12時25分～21時00分（実働 7時間50分・休憩適宜45分） 早出： 7時30分～16時05分（実働 7時間50分・休憩適宜45分） A夜勤： 15時40分～翌9時20分（実働15時間40分・休憩適宜2時間） B夜勤： 14時10分～翌7時50分（実働15時間40分・休憩適宜2時間） C夜勤： 19時10分～翌12時50分（実働15時間40分・休憩適宜2時間）
---------	---

⑥年間休日数の変更

公休2日増	年間休日108日 ⇒ 110日 これに伴い給与規程の時間外・休日・深夜手当の計算式内『月労働時間』の表記を変更。『170』⇒『一給与計算期間における平均要勤務時間』
-------	---

⑦リカバリー特別休暇（試験的導入）

- 満55歳以上の職員が共同生活援助または短期入所において、週2回夜勤業務に従事した場合、翌々週末までの間に法人が指定する日に0.5日の特別休暇を付与して心身の回復に努めることができる。※ただし、主担以上は除く。
6～8月に試験的に導入し、下期に継続するか検討する。

⑧非常勤職員の特別休暇を導入

- 準職員および所定労働日数が常勤と同じ非常勤職員は、ライフイベント等の際に勤務日の変更が困難なことから、労働局よりご指摘があり特別休暇を付与する改定を行う。

⑨行動援護ヘルパー資格取得費用の全額補助を拡大

- 非常勤職員一契約期間を経過し、実働50時間に達した場合に申請による補助を行う。

（6）法人業務分類の見直し

- 法人業務の役割を経営基盤・権利擁護地域連携・人材育成に3分類して法人運営の強靱化及び効率化を図ります。

① 経営管理室（法人運営・リスクマネジメント）

室長一辻 常務理事 兼 統括施設長、室長補佐一川端 本部長代理

専門員一池田 副主任

業務内容：法人全体の資産管理、リスク管理、コンプライアンス対応を統括し、持続可能な経営基盤を構築して実行する。

1. 法人資産管理－施設・設備・財務管理
2. 危機管理（BCP・コンプラ・カスハラ）－リスク管理・法令遵守
3. メンタルヘルス対策－職員の健康管理・メンタルヘルス対策

② 権利擁護・地域連携室（権利擁護・地域貢献）

室長一栗根 施設長、室長補佐一津司 施設長代理、専門員一柳澤 主任

業務内容：権利擁護の推進、地域社会への貢献を図る。

1. 権利擁護推進－利用者の権利擁護・虐待防止・身体拘束廃止・感染症予防
2. 社会貢献推進－地域連携・CSR（法人の社会的責任）活動



法人が社会と環境と共存しながら持続可能な成長を図るため、
責任ある行動や説明責任を果たしていくことを求める考え

③ 人材・サービス開発室（職員育成・新規事業開発）

室長－森 施設長、①室長補佐－東中尾 部長、専門員－中村 副主任

②室長補佐－西方 主任、専門員－張 副主任

業務内容：人材育成の強化、新規事業の開発・移行を進め、法人の成長を促す。

1. 日中サービス支援型共同生活援助移行準備－新規事業立ち上げ
2. 人材育成成長戦略（実習指導・職員研修）－職員教育・キャリア形成

（７）支援上の留意点について

- 実績表等の押印は利用者、家族による押印を徹底する。
- 食事提供加算の取り扱い－食事提供に関する業務マニュアルの作成
- 共同生活援助－利用者預り金の清算頻度について【年１回→毎月】 ※翌々月に清算

（８）カスタマーハラスメント（カスハラ）への対応方針について

- 利用者様・家族様との良好な関係を築き、職員が心身ともに健全に働ける職場づくりを目指す。
- 利用者様・家族様から妥当性を欠いた要求や要求を実現する手段・態様が社会通念上不相当なもので、職員の就業環境が害される行為と定義づける。
- 契約書・重要事項説明書に追記し、令和７年４月１日付で対応していく。
- 『カスタマーハラスメント（カスハラ）への対応』に関する業務マニュアルを作成し、職員に周知して、当該事案への対応に備えていく。

（９）賃金改定（ベア・定昇） ※処遇改善加算交付計画

○常 勤

- ① ベースアップ 一律8,000円（2.97%）
- ② 定期昇給 平均4,064円（1.51%）
- ③ 令和７年度処遇改善加算に関する一時金の配分計画について
・一時金は統括施設長・施設長・施設長代理・部長は支給しない。

○非常勤

- ① ベースアップ 一律10円（0.78%）
- ② 定期昇給 平均22円（1.62%）

（１０）人事について

①昇 格

- （管理職）・東中尾 竜治 主任A ⇒ 部長C
（役 職）・三村 俊 リーダー ⇒ 主担C（主に管理職を補佐）
（職 務）・壬生 芹那 支援員 ⇒ 班長

②新入職員

(常 勤)

・孫 文花	1 1 / 1 付	非常勤からの常勤登用	介護福祉士	生活介護	生活支援員
・川島 夏斗	1 / 1 付	非常勤からの常勤登用	共同生活援助	生活支援員	
・高田 朋君	2 / 1 付	高齢者施設経験 1 5 年	介護福祉士	生活介護	生活支援員
・森本 吉哲	2 / 1 6 付	非常勤からの常勤登用	共同生活援助	生活支援員	
・孫 衛	3 / 1 付	高齢者施設経験 2 0 年	介護福祉士	生活介護	生活支援員
・神樂所 千尋	4 / 1 付	福祉系専門学校卒業	社会福祉士	生活介護	生活支援員
・花田 孟	4 / 1 付	福祉系専門学校卒業	介護福祉士	生活介護	生活支援員

(1 1) 令和7年度 事業部 組織体制

最高責任者－辻統括施設長

部 門	事業名	事業統括責任者 (管理職)	事業責任者 (管理職)	業務責任者 (役 職)	班リーダー (役職・リーダー)
法人本部	総務部	川端本部長代理		池田副主任	
相談支援	相談支援	栗根施設長	津司施設長代理		
地域生活支援	共同生活	森施設長	柳澤主任	張副主任	西野主担
	短期入所			中村副主任	
	居宅介護			山下主担	
日中活動支援	生活介護 (こんぷおーと)	東中尾部長	西方主任	(本)	高井リーダー
				(別)	森川リーダー・壬生班長
	生活介護 (リアン・リパティ)			(新) 三村主担	中塚リーダー
				(リ) 山崎主担	平野リーダー・門田班長

(1 2) 設備投資

- ルポゼの各居室に見守りカメラを設置
- グループホームに排泄センサー取り付けを検討
- ハイエースの購入

(1 3) 経理業務の見直し

- 仕分け科目の整理、手書き振替伝票の廃止などにより総務部門の業務効率化。

(1 4) 20周年記念行事

○20周年記念旅行

日時 : 令和7年6月8日(金)～10日(日)

行き先 : 長崎ハウステンボス、九十九島遊覧船

人数 : 利用者様15名、家族様12名、職員15名 計42名予定

費用 : 一人当たり95,000円

○創立20周年記念行事

日時：令和7年11月3日（月・祝）

場所：ホテルモントレ ラ・スール大阪

人数：約150名（ご利用者・家族：約80名、来賓：約15名、理事・監事：約15名
支援員：約40名）

（15）新規事業・類型変更（重度訪問介護・日中サービス支援型共同生活援助）

【重度訪問介護】

重度の肢体不自由者または重度の知的障害、もしくは精神障害により行動上著しい困難がある方に対して、身体介護や家事援助、外出支援、見守りなどの支援を、比較的長時間にわたって総合的かつ断続的に行います。（厚生労働省 HP より参照）

【重度訪問介護を事業開始する理由】

- ・特にグループホームに入居されている方々が入院となった際に、制度に沿って付き添いが可能となる。
- ・今後、利用者様の更なる高齢化していく中で、行動援護ではなく、重度訪問介護の利用が想定される。

【登録利用者数、職員配置 等】

○登録利用者数見込み1名

●登録時間数（見込み）80時間

○登録従業者数 管理者1名 男性8名 女性8名 合計16名（令和7年4月登録予定）

○幹旋時間見込み 10時間／月

【日中サービス支援型共同生活援助】

日中支援型グループホームは、重度の障がいや高齢といった理由から日中の活動が難しい方に対して、24時間体制で専門的な介護サービスを提供する施設です。入浴や食事の介助はもちろん、排泄や移動といった日常生活全般をサポートします。

特に、昼夜を通じて1人以上の職員を配置しているため、緊急時にも迅速に対応できる体制が整っている点に注目です。障がいのある方が安心して暮らせるよう、きめ細やかな支援を提供しているのです。

また、定員1～5人の短期入所を併設している施設もあり、ご家族の事情などで一時的に自宅での生活が困難になった場合にも利用できます。

参照：共同生活援助（介護サービス包括型・外部サービス利用型・日中サービス支援型）に係る報酬・基準について／厚生労働省

【日中サービス支援型共同生活援助に移行・新規設置する理由】

・早急な日中支援体制の確保

入居者様の高齢化に伴い、介護度の上昇や医療的ケアの必要性が増大してきている。

個別の医療機関（現在21医療機関）や訪問看護ステーションとの連携が必要。

日中活動先への通所が困難となるケースの増加が予想される。

- ・ **グループホーム入居希望者の増加**

現在、短期入所を利用されている方のご家族様の大半が、将来的にはグループホームへの入居を希望されている。→強度行動障がい有する利用者様のグループホームの受け皿が少ない。

- ・ **安定した運営のための財源確保**

日中サービス支援型共同生活援助は、日中も含めた手厚いサービスが求められることから介護サービス包括型よりも報酬単価が高く設定されている。更なる職員の増員やICT導入への設備投資をしていくには、新たな財源確保が必要。

- ・ **共同生活援助と短期入所の一体的運営による支援強化**

日中サービス支援型共同生活援助として、一体的に運営することで、緊急時の対応が可能な短期入所体制の確立に近づける。24時間365日受け入れ可能な短期入所が確立していけば、在宅生活を支える柔軟な支援環境が整備可能となり、より長く在宅生活を維持できる地域生活支援体制の構築につなげる。

※一体的に運営することで、より手厚い職員配置を整え、利用者様の更なる生活の質の向上につなげる。

- ・ **有事および将来的な看取り支援体制の整備**

新興感染症の発生時等に感染者の対応を行う指定締結医療機関との連携に向け、上山クリニックと協議を進めていく。

将来的には、看護師の配置、看取り支援体制の整備を進め、入居者様が最後まで安心して暮らせる環境を作り、選択肢の一つとして体制を整備していく。

【令和7年度スケジュール】

- ・ 事前審査まで : 大阪市福祉局運営指導課で設置基準についての確認。
- ・ 4月 : ホーム家族会にて、利用者様、家族様への説明・同意。
- ・ 5月 : 大阪市福祉局障がい支援課による事前審査。
- ・ 5～6月 : 生活介護家族会にて、主に短期入所の件について、説明・同意。
- ・ 6～7月 : 指定手続き。
- ・ 11月 : 指定・移行。

【本館】

2階-日中サービス支援型共同生活援助 男性-5名

3階-日中サービス支援型共同生活援助 男性-5名

4階-単独型短期入所 5部屋 主に男性

【新館】

2階-日中サービス支援型共同生活援助 女性-5名

3階-単独型短期入所 5部屋 主に女性

【令和8年度以降のスケジュール】

- ・ 新館3階 - 単独型短期入所 5部屋 → 日中サービス支援型共同生活援助 3～4名
単独型短期入所 1～2部屋
- ・ 新興感染症の発生時等に感染者の対応を行う協定締結医療機関との連携締結
- ・ 本館4階 - 単独型短期入所 5部屋 → 日中サービス支援型共同生活援助 3～4名
単独型短期入所 1～2部屋

- ・常勤看護師の配置、看取り支援体制の整備

(16) 地域生活支援

①共同生活援助 みんなの家

【事業目標】：利用者様がより安心して過ごせるようリスクマネジメントを強化するとともに、より快適な環境を整えます。

○地域連携推進会議開催に向けて

- ・3月25日～31日の間に令和6年度地域連携推進会議ならびに住居訪問を実施予定。
- ・令和7年度については、上期で第三者評価受審。下期で地域連携推進会議の開催ならびに住居訪問を実施予定。

1. 職員配置

- ・重度障害者支援加算（Ⅰ）生活支援員のうち20%以上の基礎研修修了者を配置
- ・夜間支援等体制加算（Ⅰ）原則、入居者様5人に対して1人の夜勤職員を配置
- ・夜間支援等体制加算（Ⅳ）複数の夜勤職員を配置し、夜間の支援体制強化を図った場合に算定
- ・福祉専門職配置等加算（Ⅰ）型 [常勤配置8人中5人が国家資格保有者]
- ・医療連携体制加算（Ⅶ）型 [24時間 看護師との連絡体制の確保]

職 種	常勤（内、兼任）	非常勤（内、兼任）	合 計	常勤換算
世 話 人	0名（0名）	16名（1名）	16名（1名）	5.30名/日
生活支援員	18名（10名）	1名（1名）	19名（11名）	8.50名/日
合 計	18名（10名）	17名（2名）	35名（12名）	13.80名/日

2. 入居者様の支援に関して

○服薬支援強化

- ・現状、当事業所が求める服薬支援ロボットは見当たらないが、引き続き、調査は進めていく。
- ・「服薬ミス＝命にかかわる可能性」ということを再認識・情報共有を徹底し、高い意識を持って服薬支援にあたる。

○新興感染症発生時の対応について

新興感染症が発生した際に、感染者の対応を行う指定締結医療機関との連携に向け、上山クリニックと協議を進めていきます。

○嚥下食の導入

嚥下機能の低下が見られる利用者様に、やわらか食を取り入れ、安全かつ美味しくいただける食事提供を実施します。4月～5月業者選定。6月より本格導入。

- 利用者様帰宅時の持ち帰り準備物等をマニュアル化し、誰が帰宅時の対応にあたっても対応できる環境を整えます。

3. 年間行事計画

行事名	開催月	目安の予算（一人）
長崎旅行 － 2泊3日 －	6月	予算：95,000円

②居宅介護（行動援護・重度訪問介護・移動支援）

【事業目標】：利用者様の更なる余暇の充実（休日）と健康増進（平日）を図ります。

1. 行動援護事業を積極的に活用していただき、平日はウォーキング等で健康の維持増進、休日はOJT研修等を通し、余暇の充実、経験拡大を図ります。
2. キャリアアップ支援制度を活用し、実務経験のある職員には、強度行動障がい支援者養成研修（基礎・実践）、行動援護従業者養成研修の受講を進め、「従業者の増」ならびに「幹旋時間の増」につなげていきます。また地域の障がい福祉事業所とも連携し、行動援護従業者養成研修の受講を進めていきます。
3. 重度障がい者等包括支援事業のサービス提供責任者になるには、相談支援専門員の資格が必要となるため、資格取得を進めていきます。

4. 行動援護

- 登録利用者数 19名（令和7年4月登録予定） ●登録時間数 838時間
- 登録従業者数 管理者1名 男性19名 女性13名 合計32名（令和7年4月登録予定）
- 幹旋時間見込み 400時間／月

5. 移動支援

- 登録利用者数 5名（令和7年4月登録予定） ●登録時間数 105時間
- 登録従業者数 管理者1名 男性19名 女性13名 合計32名（令和7年4月登録予定）
- 幹旋時間見込み 6時間／月

③短期入所「ルポゼ」（日中サービス支援型共同生活援助「ルポゼ」事業移行準備委員会）

【事業目標】：連泊の拡大や予約日を早めることで、介護給付費月200万円を目指し、稼働率アップを図ります。

- ・日中サービス支援型共同生活援助への移行を見据え、6月より月1回4泊5日（月～金）の開所を設定し、利用者様に長期の宿泊にも慣れていただきます。

【男性】

4月 -月12回開所
5月 -月12回開所
6月以降-月16回開所

【女性】

4月 -月18回開所
5月 -月18回開所
6月以降-月19～20回開所

- ・6月より予約受付を「当該月の前月の1日」から「当該月の前々月の1日」に変更します。

1. 登録利用者数(内、重度加算対象者数) 男性15名(内12名)・女性14名(内13名)

- ・区分6：男性12名 女性13名
- ・区分5：男性2名 女性0名
- ・区分4：男性1名 女性0名
- ・区分3：男性0名 女性1名

2. 職員配置

- ・管理者兼生活支援員 女性1名（内1名）
- ・生活支援員 男性3名（内3名） 女性4名（内4名）
- ・栄養士 女性1名

※生活支援員は生活介護事業の生活支援員と兼務

※（ ）は行動援護又は強度行動障がい支援者の資格者

3. 開所日数及び利用見込み延べ数

《利用延べ見込み数 前期》 () は開所日数

男 性	4 月 (12日)	5 月 (12日)	6 月 (16日)	7 月 (16日)	8 月 (16日)	9 月 (16日)
区分6	44名	44名	58名	58名	58名	58名
区分5	4名	4名	6名	6名	6名	6名
区分4	0名	0名	0名	0名	0名	0名
女 性	4 月 (16日)	5 月 (16日)	6 月 (20日)	7 月 (20日)	8 月 (20日)	9 月 (20日)
区分6	72名	72名	96名	96名	96名	96名
区分5	0名	0名	0名	0名	0名	0名
区分4	0名	0名	0名	0名	0名	0名
合 計	120名	120名	160名	160名	160名	160名

《利用延べ見込み数 後期》 () は開所日数

男 性	10月 (16日)	11月 (16日)	12月 (16日)	1月 (16日)	2月 (16日)	3月 (16日)
区分6	58名	58名	58名	58名	58名	58名
区分5	6名	6名	6名	6名	6名	6名
区分4	0名	0名	0名	0名	0名	0名
女 性	10月 (20日)	11月 (20日)	12月 (20日)	1月 (20日)	2月 (19日)	3月 (20日)
区分6	96名	96名	96名	96名	88名	96名
区分5	0名	0名	0名	0名	0名	0名
区分4	0名	0名	0名	0名	0名	0名
合 計	160名	160名	160名	160名	152名	160名

(17) 日中活動支援

○生活介護「こんふおーと」「リアン」「リバティ」共通

【事業目標】: 利用者様一人ひとりの自己実現を支援するため、日中活動の多様化と地域交流の促進を図ります。

開所日数 (前年度より2日増)

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
開所日数	22日	23日	22日	23日	22日	22日
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数	23日	22日	23日	22日	20日	22日
合計266日						

利用者様の日中活動支援に関して

1. 地域のボランティアや近隣事業所との合同イベントを企画し、利用者様の経験拡大へと繋がります。
2. 利用者様が「選択できる」「体験できる」機会を増やし、充足度の向上へと繋がります。
3. 地域との繋がりを強化し、社会参加の機会を創出します。
4. 食事提供に関しては、(株)ジョイントでの健康管理食を基本として、利用者様の健康状態に合わせてやわらか食などの導入を行います。
5. 希望別・班別のレクリエーションに関しては、引き続き、利用者様の希望や意見を取り入れて、充足度の向上に繋がります。
6. その他、運動機会の確保、主なサービス内容等については、前年度と同様に継続して実施します。

行事計画

4月	花見（全体）	10月	京都水族館（事業所別）
5月	B B Q（全体）	11月	創立20周年行事（法人行事） 班別レクリエーション
6月	班別レクリエーション	12月	クリスマス会（全体） 忘年会（全体）
7月	ニフレル（事業所別）	1月	新年会（全体）
8月	希望別レクリエーション	2月	希望別レクリエーション
10月	大阪万博（全体）	3月	食事レクリエーション（班別）

○生活介護「こんふおーと」

登録利用者 24名

※新規利用者

H様 男性 東住吉支援学校 令和7年3月卒業予定 区分6

O様 男性 東住吉支援学校 令和7年3月卒業予定 区分5

H様 女性 大阪教育大学付属支援学校 令和7年3月卒業予定 区分5

サービス提供時間	区分6	区分5	区分4	合 計
6時間以上7時間未満	20名 (行動関連10点以上18名)	4名 (行動関連10点以上3名)	0名	24名 (行動関連10点以上21名)
7時間以上8時間未満	0名	0名	0名	0名
合 計	20名 (行動関連10点以上18名)	4名 (行動関連10点以上3名)	0名	24名 (行動関連10点以上21名)

※行動関連18点以上 6名

[職員配置]

・人員配置体制加算(Ⅰ)型【1.5対1】

区分5若しくは区分6に該当する者の総数が利用者数の6割以上であること。

常勤換算方法により、従業員の員数が利用者の数を1.5で除して得た数以上であること。

・福祉専門職配置体制加算(Ⅰ)型 [常勤配置12人中7人が国家資格保持者] ※サビ管除く 常勤の生活支援員等のうち、社会福祉士、介護福祉士等の資格保有者が35%以上の事業所。

・福祉専門職員配置等加算(Ⅲ)型 [常勤配置12人中5人が3年以上従事]

生活支援員のうち常勤職員が75%以上、または常勤の生活支援員のうち、3年以上従事している従業者が30%以上の事業所。

・重度障がい者支援加算(Ⅱ)

・重度障がい者支援加算(Ⅲ)

・食事提供体制加算

常勤（内、兼任）	非常勤（内、兼任）	合 計	常勤換算
12名（8名）	2名（0名）	14名（8名）	11.14名／日

○生活介護「リアン・リバティ」

登録利用者 22名

サービス提供時間	区分6	区分5	区分4	合 計
6時間以上7時間未満	6名 (行動関連10点以上6名)	2名 (行動関連10点以上2名)	1名	9名 (行動関連10点以上8名)

7時間以上8時間未満	13名 (行動関連10点以上13名)	0名	0名	13名 (行動関連10点以上13名)
合 計	19名 (行動関連10点以上19名)	2名 (行動関連10点以上2名)	1名	22名 (行動関連10点以上21名)

※行動関連18点以上 10名

〔職員配置〕

- ・人員配置体制加算(Ⅰ)型【1.5対1】
- ・福祉専門職員配置等加算(Ⅰ)型 [常勤配置10人中7人が国家資格保持者] ※サビ管除く
- ・福祉専門職員配置等加算(Ⅲ)型 [常勤配置10人中5人が3年以上従事]
- ・重度障がい者支援加算(Ⅱ)
- ・重度障がい者支援加算(Ⅲ) ・食事提供体制加算

事業所名	常勤(内、兼任)	非常勤(内、兼任)	合 計	常勤換算
リアン	6名(4名)	9名(0名)	15名(4名)	8.95名/日
リバティ	4名(3名)	3名(1名)	7名(4名)	3.92名/日
合 計	10名(7名)	12名(1名)	22名(8名)	12.87名/日

(18) 相談支援

〔事業目標〕: 独立性と客観性を重視した利用者本位での事業所間連携の強化及び基幹相談支援センター等と連携した地域貢献、社会貢献の推進

〔職員配置〕

- ・機能強化型サービス利用支援費(Ⅲ)及び機能強化型継続サービス利用支援費(Ⅲ)
 - ・行動障害支援体制加算
 - ・医療・保育・教育機関等連携加算
- 利用者様の意向を最優先し、事業所や関係機関の影響を受けることなく、公平・中立な支援を実施します。
利用者様の希望に基づき、適切なサービス事業所を選定・紹介し、個別性を尊重したプランを提案します。
利用者様の意向を最大限尊重し、自己決定を支援するとともに、多様な選択肢を提示することで、より良い生活の実現をサポートします。
事業所間の連携を強化し、利用者様がより質の高い支援を受けられる環境を整えます。
相談支援専門員同士の意見交換を行い、支援の質の向上を図るとともに、新たな支援の在り方を模索します。
こうした取り組みを通じて、独立性と客観性を重視した利用者本位の立場を貫いた相談支援専門員としてサービスの質の向上を目指します。
 - 事業単体での黒字化を図るため、引き続き、新規利用契約に取り組みます。
新規契約目標: 年間 10名 (令和6年度末時点 32名)
(4～6月: 4名 7～9月: 2名 10～12月: 2名 1～3月: 2名)
※前年度比約190万円の増収を見込みます。
 - モニタリング月には、可能な限り調整を行い、利用者様の医療機関への定期通院に同行(医療・保育・教育機関等連携加算)し、情報の共有を図ることで、サービスの質の向上に繋がります。

4. 基幹相談支援センターと連携し、対応困難な相談支援の受け入れ、施設入所者の地域生活移行を促進します。
5. 施設入所者地域生活移行促進事業をはじめ、地域貢献のため多機関協働事業に積極的に参画します。
6. 将来的に機能強化型Ⅱへの移行を目指すため、新たな相談支援専門員の育成を推進します。
7. 事業所内での会議を毎週行い、情報共有を徹底します。
8. 機能強化型の相談支援事業所に移行することで、今まで以上に支援困難ケースへの積極的な対応を行い、専門性の高い人材の確保に努めます。また、質の高いマネジメントを実施し、市町村や基幹相談支援センター等との連携体制を確保します。

(19) 社会貢献（地域連携）

1. 住道矢田6町会・矢田5町会

- 災害時の連携等の関係強化（避難訓練の参加要請）

2. 要介護者対応型避難所づくりと防災なんでも電話相談

- 相談支援事業所（栗根施設長・津司施設長代理）が中心となって、地域の相談に応じる。
・社会資源等の情報提供が主な業務

3. 社会貢献事業

- 包括連携協定の締結

大阪総合保育大学短期大学部（現・大阪城南女子短期大学）と共に、地域社会の発展に寄与するため、教育・就職・地域イベント・研究において、相互に協力し取り組む。

- 矢田ふれあい祭り実行委員会への参画

4. 施設入所者地域生活移行促進事業

- 施設入所者への計画的な外出支援を通じて地域生活体験の機会を提供することにより、障がい者支援施設からの地域移行の促進を図る。

(20) 社会貢献（団体加盟）

団体名	主たる窓口	所属部会 等
大阪府社会福祉協議会 ・近畿社会就労センター協議会加盟 ・全国社会就労センター協議会加盟	久保 理事長	・セルフ部会 副部会長 ・研修運営委員会 専門委員会 委員長 ・研修運営委員会 委員 ・福祉と人権の研修ネットワークおおさか運営委員会 委員 ・運営化適正化員会 日常生活自立支援事業・運営監視小委員会 委員
	辻 統括施設長	・従事者部会 常任委員
大阪市障がい児・者施設連絡協議会	久保 理事長	・身体障がい者部会
	森 施設長	・知的障がい者部会
大阪知的障がい者福祉協会 ・日本知的障がい者福祉協会加盟	久保理事長	・日中活動系サービス 部会
一般社団法人 大阪知的障がい児者生活サポート協会	柳澤 主任	・広報誌「RA-SHI-KU」編集係
東住吉区自立支援協議会	東中尾 部長 西方 主任	・日中活動系

	柳澤 主任 中村 副主任 張 副主任	・居住系
	森 施設長	・訪問系
	栗根 施設長 津司 施設長代理	・相談支援部会

(2 1) 実習の受け入れ

1. 大阪総合保育大学短期大学部 実務者研修
2. 南海福祉看護専門学校 介護社会福祉科
3. 大阪芸術大学短期大学部 保育学科
4. 大阪総合保育大学（小学校および中学校の教諭の普通免許授与に関わる介護等体験）

(2 2) 健康維持増進

1. 健康診断【前期：6月27日（金）、後期：11月21日（金）】

人間ドック 2～3月

※感染症検便検査 ➡利用者様・職員ともに必須検査

※大腸がん検便検査➡利用者様・職員ともに選択制・40歳以上の職員が選択した場合は全額補助とする
 ・40歳未満の職員が選択した場合は実費負担とする
 ・利用者様は選択制とし実費負担とする。

※人間ドック ➡40歳以上の常勤職員及び管理職が対象で選択制

- ・入社6カ月未満及び退職予定者は対象外とする ・松原徳洲会に限り2～3月に実施する
- ・補助額上限38,500円（上限を超えるオプション等は自己負担とする）
- ・人間ドックを希望しない場合は11月の健康診断は必須で受診する ※9月頃に意思確認を行う

※学生夜勤アルバイトについて

- ・学校で受けた健康診断書の提出により、当法人が指定する健康診断の受診を見送ることができる。
ただし、項目が不足している場合は、不足している項目のみ指定の医療機関にて受診させる。

2. メンタルヘルス対策（メンター制度）

○一般職員ー5月、9月、1月 ○班 長ー6月、10月、2月

○リーダーー7月、11月、3月 ○役 職ー8月、12月

○メンターの聞き取り方法（1人30分以内）

- ・厚生労働省が推奨する労働者の「疲労蓄積度自己診断チェックリスト」を活用して疲労度を確認する。
- ・その他、疑問や悩みなどがあれば傾聴の技術のみ活用する。

○メンターは聞き取り後、チェックリストを提出、管理職で情報共有する。

(2 3) 苦情・虐待窓口、各種委員会

【苦情・虐待窓口】※表記は制度上の配置職域名

事業名	責任者	窓 口	第三者委員
相談支援 だんでらいおん相談支援事業所	栗根 亮 (相談支援 施設長)	津司 真木子 (施設長代理：管理者兼相談支援員)	大阪総合保育大学 短期大学部 前田 崇博 教授
共同生活援助 「みんなの家 フェロー」	森 正明 (地域生活支援 施設長：管理者兼サビ管)	柳澤 正博 (主任：生活支援員)	

生活介護「こんふおーと」	東中尾 竜治 (日中活動支援 部長)	西方 守 (主任：管理者兼サビ管)	大阪総合保育大学 短期大学部 前田 崇博 教授
生活介護「リアン」「リバティ」	東中尾 竜治 (日中活動支援 部長)	山崎 勝彦 (主担：生活支援員)	
行動援護 だんでらいおん居宅介護事業所	森 正明 (地域生活支援 施設長：従業者)	柳澤 正博 (主任：管理者兼サビ責)	
重度訪問介護 だんでらいおん居宅介護事業所	森 正明 (地域生活支援 施設長：従業者)	柳澤 正博 (主任：管理者兼サビ責)	
移動支援 だんでらいおん居宅介護事業所	森 正明 (地域生活支援 施設長：従業者)	柳澤 正博 (主任：管理者兼サビ責)	
短期入所「ルポゼ」	森 正明 (地域生活支援 施設長)	中村 優公 (副主任：管理者兼支援員)	

1. コンプライアンス・ハラスメント検証委員会

障がい福祉の現場において適切な職場環境維持（ハラスメント対策）を求める。

2. 苦情解決・虐待防止・身体的拘束適正化・リスクマネジメント検証委員会

※2カ月に1回（偶数月）に会議を実施。

3. 感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止のための対策を検討する委員会

《共同生活援助 給食・衛生委員会 6月・12月》

《生活介護 給食・衛生委員会 8月・2月》

《短期入所 給食・衛生委員会 7月・1月》

(24) 業務継続計画（BCP）

(一) 感染症（新型コロナ・インフル 等）

(二) 自然災害（南海トラフ 等）

※年1回 令和8年1月にBCP研修及び訓練を実施。

(25) 環境整備

- ・ワックスがけ 《本館・別館・新館》 株式会社 FASTRIK
- ・エアコン洗浄 株式会社 ホームパレット
- ・雑排水管洗浄 小川工業 株式会社

(26) 全体職員会議・専門研修（外部講師）

1. 専門研修(外部講師)

全体職員会議の専門研修に合わせて、外部講師依頼の日程調整を行う。

令和7年7月5日(土)、10月25日(土)、令和8年1月17日(土)、3月28日(土)

2. 令和7年度 個別研修計画（常勤）、令和7年度 個別研修計画（非常勤）※別紙、参照

3. 外部研修（福祉専門職としての使命や倫理観の向上を目的とする）

大阪府社会福祉協議会が実施する「障がい児者・救護施設課程研修」又は類似研修に参加する。

(27) キャリアアップ支援（助成）制度

○下記、法人が必要と認める資格を取得する場合の費用負担制度。※別紙規定あり

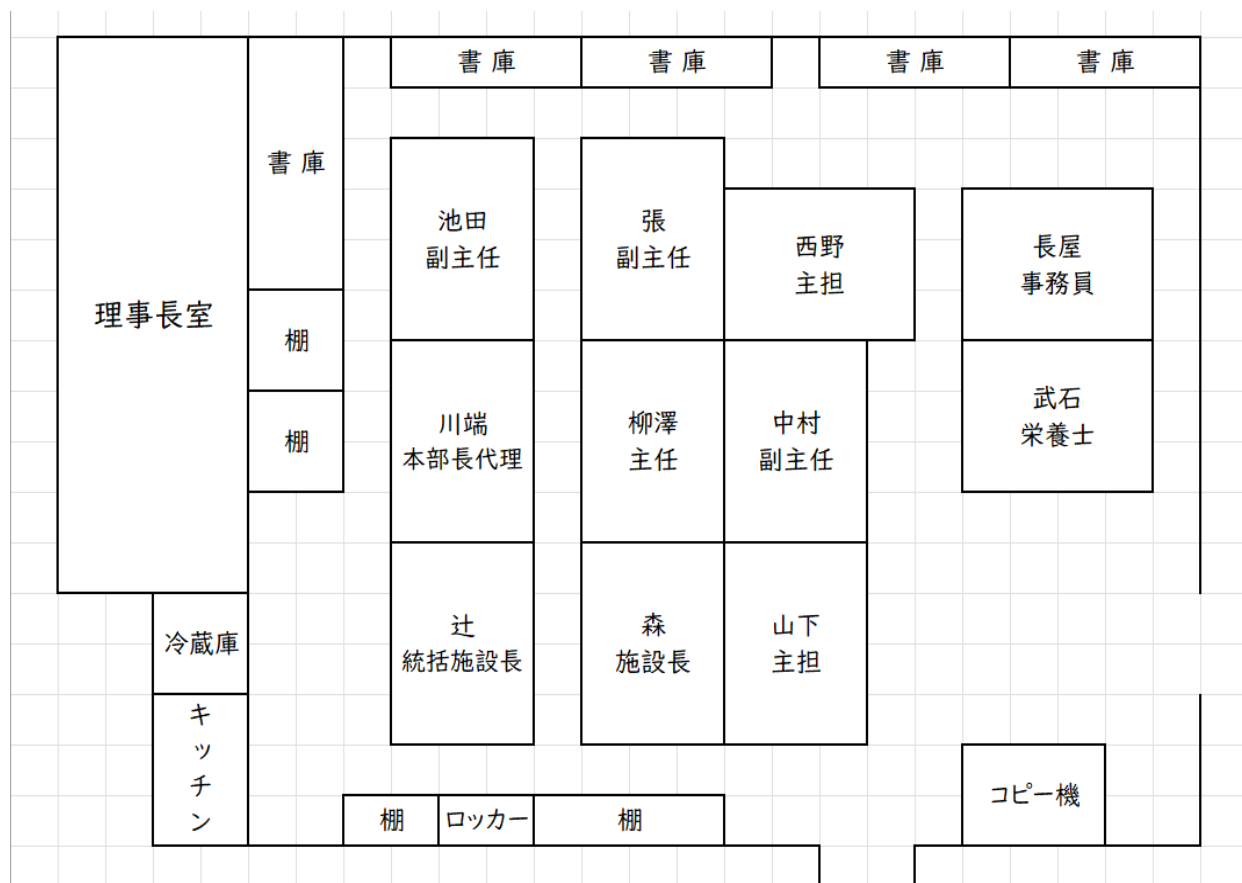
1. 第2種衛生管理者

《管理職》

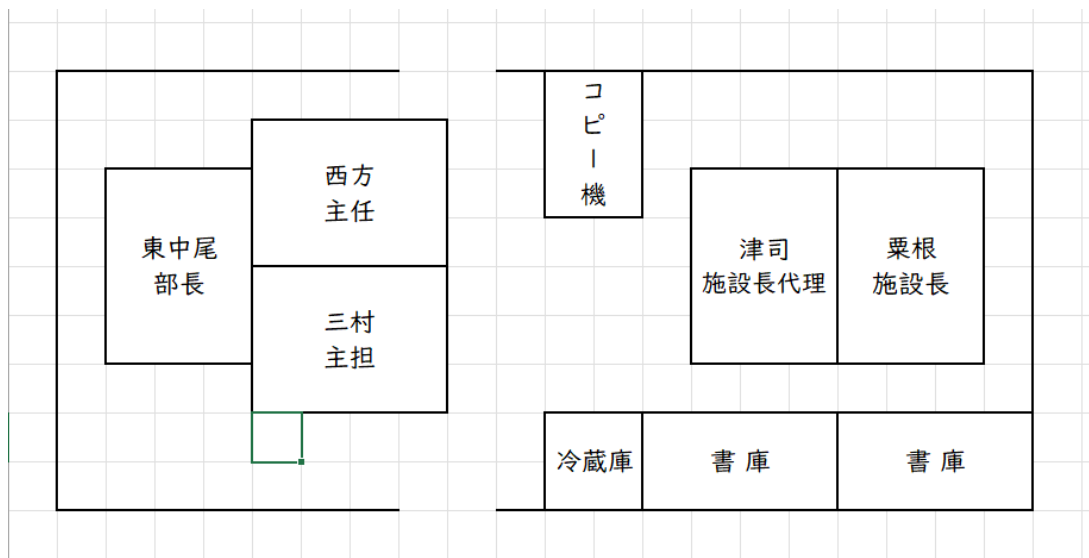
2. 相談支援従事者初任者研修（2日課程）
3. 相談支援従事者初任者研修（7日課程）《川端本部長代理》
4. サービス管理責任者 更新研修 《柳澤主任》
5. サービス管理責任者 実践研修 《辻統括施設長・張副主任・中村副主任・三村主担》
6. サービス管理責任者 基礎研修 《高井リーダー》
7. 相談支援従事者現任研修 《津司施設長代理》
8. 介護福祉士実習指導者研修 《東中尾部長・西方主任》
9. 介護福祉士実務者研修修了 《職員の申し出→所属長推薦→管理職面談》
10. 行動援護従業者資格 《金光支援員・孫文花支援員》
11. 強度行動障がい支援者養成研修（基礎）《白石支援員・田淵支援員》
12. 強度行動障がい支援者養成研修（実践）《白石支援員・田淵支援員》
13. その他
 - ・国家資格又は受験資格を得るための学習会等の情報を提供する。
 - ・資格取得の際の勤務等を配慮し、機会確保を支援する。

（28）事務所の配置

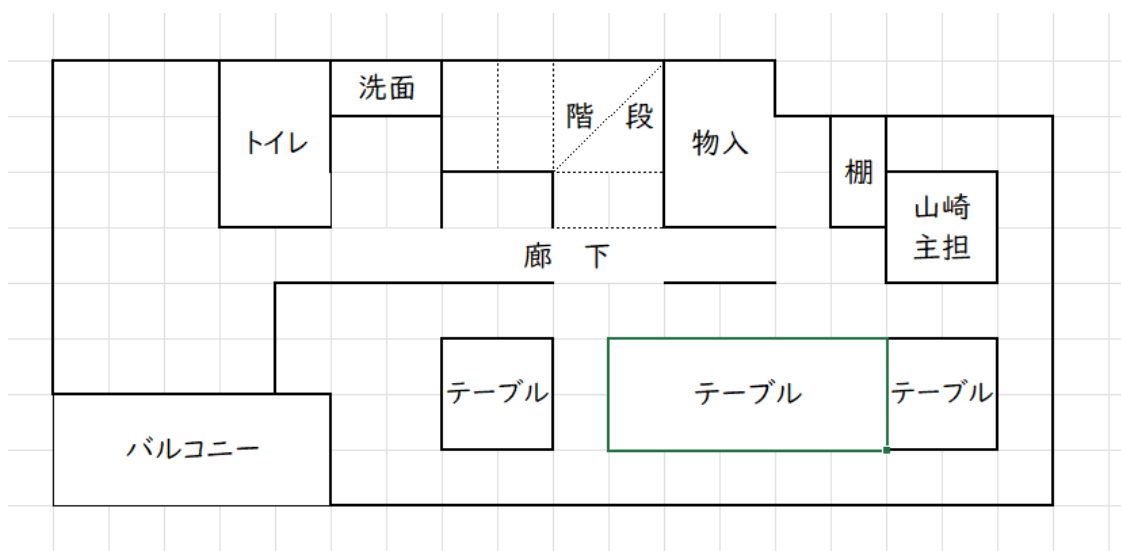
○新館



○本 館



○リバティ 2階



(29) その他

1. 理事会開催について (予定)

- 令和7年 5月24日(土) 10:00～ 決算理事会・会員総会
- 令和7年11月13日(木) 18:00～ 上期決算理事会
- 令和8年 3月 5日(木) 18:00～ 予算理事会

2. 意見交換会開催について

- 令和7年 7月 5日(土) 17:30～ 新任職員歓迎会及び理事・監事との意見交換会
- 令和8年 1月17日(土) 18:00～ 理事・監事との意見交換会

第5号議案 令和7年度 予 算 案

[収入の部]

[支出の部]

(単位:円)

会計区分	金 額	備 考	会計区分	金 額	備 考
共同生活援助			共同生活援助		
代理受領収入	82,000,000	国保連	人件費	85,900,000	職員18人、非常勤17人
処遇改善加算	12,000,000		その他経費	19,483,000	
利用者負担額	8,420,000	家賃、光熱、食費、日用品			
その他収入	3,194,000	補助金、会費収入			
小 計	105,614,000		小 計	105,383,000	
生活介護 こんふおーと			生活介護 こんふおーと		
代理受領収入	104,400,000	国保連	人件費	89,690,000	職員12人、非常勤3人
処遇改善加算	8,450,000		その他経費	14,228,000	
利用者負担額	1,440,000	食費			
その他収入	1,696,000	会費、作業収入			
小 計	115,986,000		小 計	103,918,000	
生活介護 リアン			生活介護 リアン		
代理受領収入	120,260,000	国保連	人件費	101,500,000	職員12人、非常勤11人
処遇改善加算	9,740,000		その他経費	21,046,000	
利用者負担額	1,680,000				
その他収入	1,264,000	会費、作業収入			
小 計	132,944,000		小 計	122,546,000	
行動援護			行動援護		
代理受領収入	21,000,000	国保連	人件費	25,988,000	職員6人、ヘルパー手当
処遇改善加算	8,280,000		その他経費	2,783,000	
その他収入	96,000				
小 計	29,376,000		小 計	28,771,000	
移動支援			移動支援		
代理受領収入	64,000	国保連、松原市支援費	人件費	0	職員1人、ヘルパー手当
			その他経費	1,000	
小 計	64,000		小 計	1,000	
短期入所			短期入所		
代理受領収入	23,000,000	国保連	人件費	15,450,000	職員15人
処遇改善加算	3,710,000		その他経費	6,389,000	
利用者負担額	1,350,000	光熱、食費			
その他収入	142,000				
小 計	28,202,000		小 計	21,839,000	
相談支援			相談支援		
代理受領収入	4,600,000	国保連	人件費	20,160,000	職員2人
			その他経費	351,000	
小 計	4,600,000		小 計	20,511,000	
本部			本部		
会費収入	420,000		その他経費	181,000	支払利息 租税公課
小 計	420,000		小 計	181,000	
			繰越金 (減価償却費)	14,056,000 (12,930,000)	
合 計	417,206,000		合 計	417,206,000	

会 員 ・ 寄 付 の 状 況 会 費

種 別		会費 /年(円)		令和5年度		令和6年度		前年度対比	
					金 額 (円)		金 額 (円)	金 額 (円)	%
正 会 員	個 人	12,000	件数	106		109			
			口数	161	1,924,000	162	1,938,000		
	団 体	20,000	件数	0		0			
			口数	0	0	0	0		
		小 計	口数	161		162		1	
			金額		1,924,000		1,938,000	14,000	100.7%
賛 助 会 員	個 人	3,000	件数	20		17			
			口数	30	91,000	23	69,000		
	団 体	20,000	件数	4		4			
			口数	4	80,000	5	100,000		
		小 計	口数	34		28		-6	
			金額		171,000		169,000	-2,000	98.8%
会費合計			口数	195		190		-5	
			金額		2,095,000		2,107,000	12,000	100.6%

寄附金

		令和5年度		令和6年度		前年度対比	
			金 額 (円)		金 額 (円)	金 額 (円)	%
一般寄附金	寄 付		1,234,560	寄 付	1,022,270		
	クリスマス プレゼント		100,000	クリスマス プレゼント	100,000		
			1,334,560		1,122,270	-212,290	84.1%